

令和4年度

**「市民による市政評価」  
結果報告書**

令和4年12月

大仙市 企画部 総合政策課

## 1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

## 2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	5
2.4 満足度及び重要度	8
2.4.1 満足の度合い	8
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	10
2.4.3 満足度における属性別比較	11
2.4.4 重要の度合い	15
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	17
2.4.6 重要度における属性別比較	18
2.4.7 項目別要望度	22
2.4.8 満足度、重要度の総括	24
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	25
2.5 さらに推進すべき取り組み	27
2.5.1 産業分野に関する設問について	27
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	30

2.5.3	健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	33
2.5.4	環境安全分野に関する設問について	36
2.5.5	都市基盤分野に関する設問について	39
2.5.6	教育・交流分野に関する設問について	42
2.5.7	地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	45
2.5.8	さらに推進すべき取り組みの総括	48
2.6	市の情報発信や行政サービスのデジタル化について	53
2.6.1	市政情報の入手手段に関する設問について	53
2.6.2	市が行っている行政サービスに関する設問について	56
2.7	あなたが思う大仙市について	60
2.7.1	市内在住の経緯に関する設問について	60
2.7.2	「住みやすさ」に関する設問について	62
2.8	経年比較	66
<b>3</b>	<b>市民による個別事業評価</b>	
3.1	個別事業評価	80
3.1.1	市所有温泉施設について	80
3.1.2	SDGsについて	99
3.1.3	男女共同参画について	115
<b>4</b>	<b>自由意見</b>	138
<b>5</b>	<b>資料（調査票）</b>	
	令和4年度「市民による市政評価」調査票	

## 1 はじめに

### 1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さまの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施している。

平成28年度からは、市政評価とあわせて個別の施策や事業に関する評価・意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

### 1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

#### (1) 市民による市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想の体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- 満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- 重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）
- 今後さらに推進すべき取り組み

また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行った。

#### (2) 市民による個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、市民のニーズをふまえた施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の3テーマについて調査した。

No.	テーマ
1	市所有温泉施設について
2	SDGsについて
3	男女共同参画について

### 1.3 調査の手法

昨年度は「市民による個別事業評価」の一部でインターネットによる回答を試行したが、今年度は全ての調査においてインターネット回答を可能とし、調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式とした。

### 1.4 調査票

本調査は、次の調査票により実施した。

○令和4年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価」の3テーマを含む）

### 1.5 調査期間

令和4年4月28日（木）～6月3日（金）

### 1.6 集計・分析上の注意事項について

- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等の不明者を除いているため、属性等の項目ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

## 2 市民による市政評価

## 2 市民による市政評価

### 2.1 調査対象

18歳以上、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

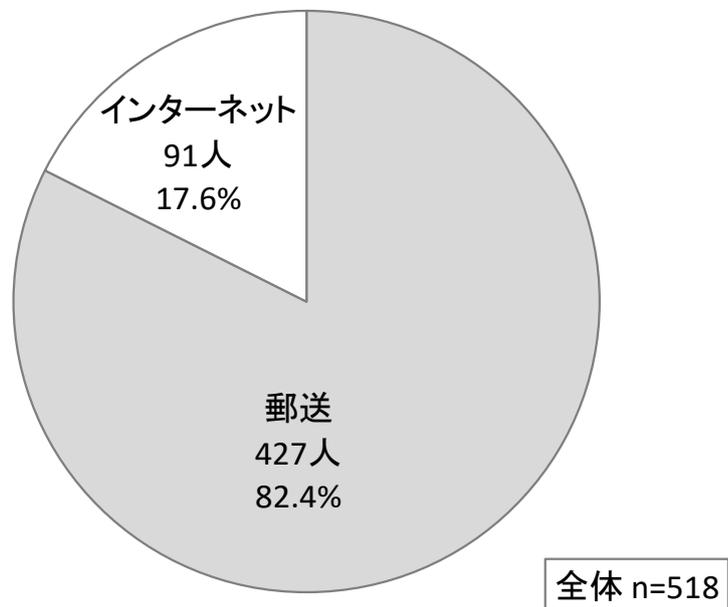
### 2.2 回収率

送付者数・・・1,000人

回答者数・・・518人

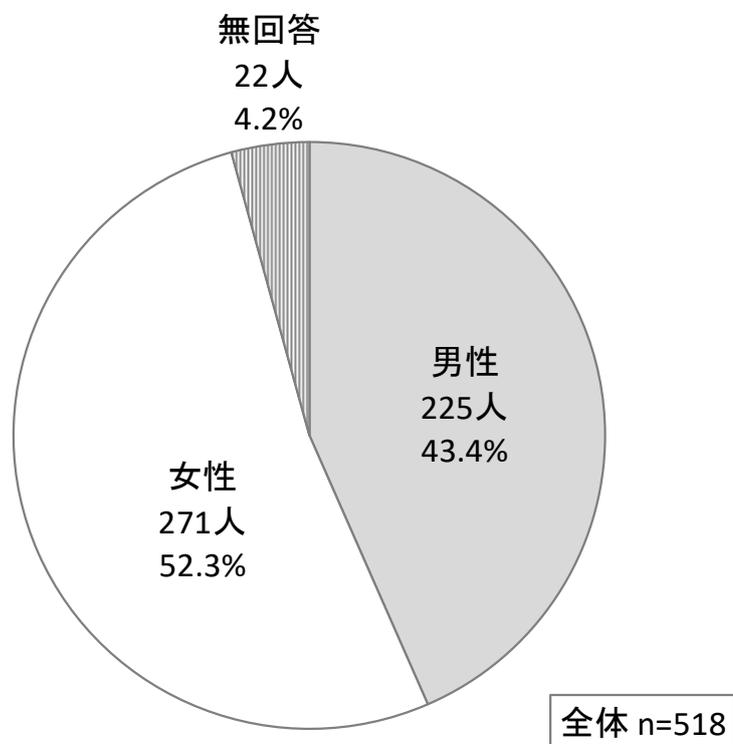
回収率・・・51.8%

図表1 回答方法の内訳

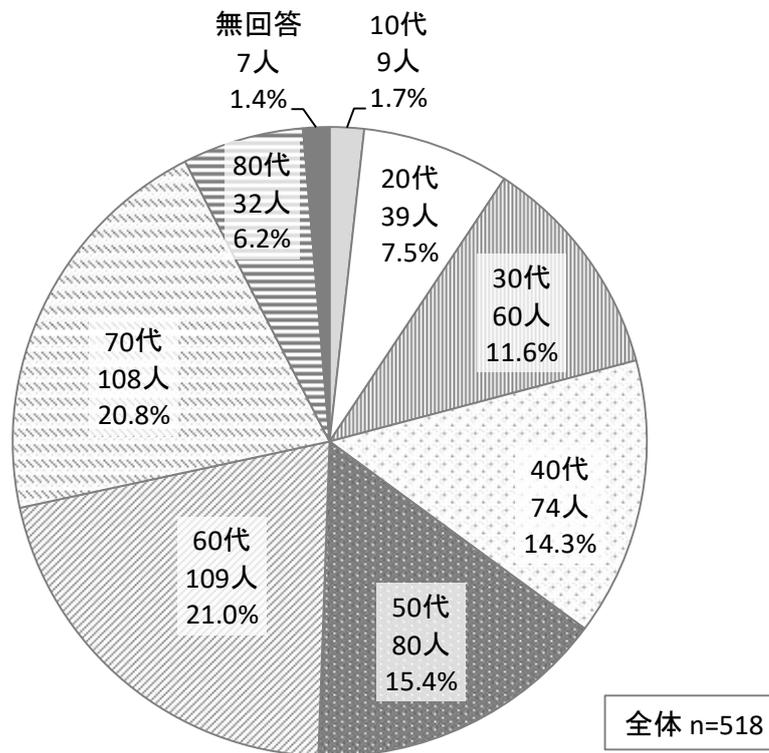


## 2.3 回答者の属性

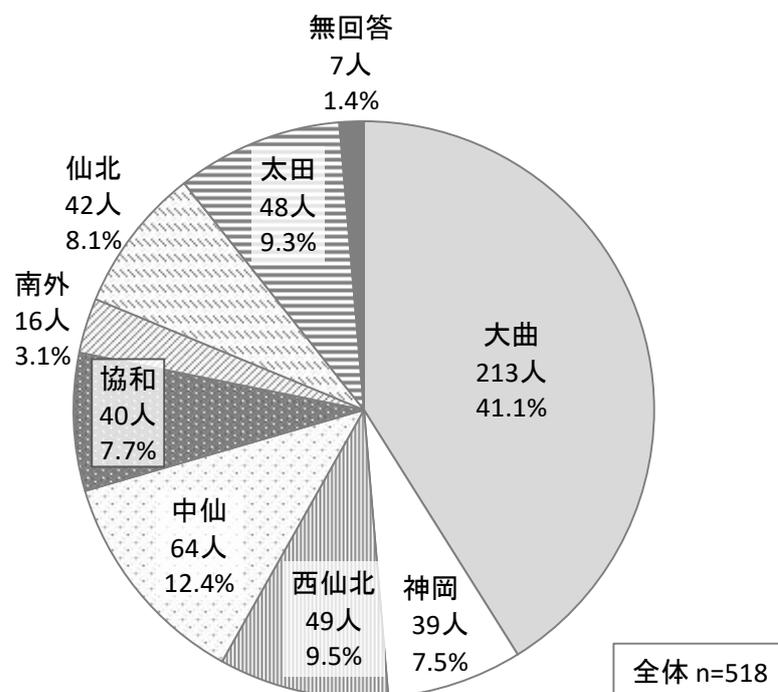
図表 2 回答者の性別の内訳



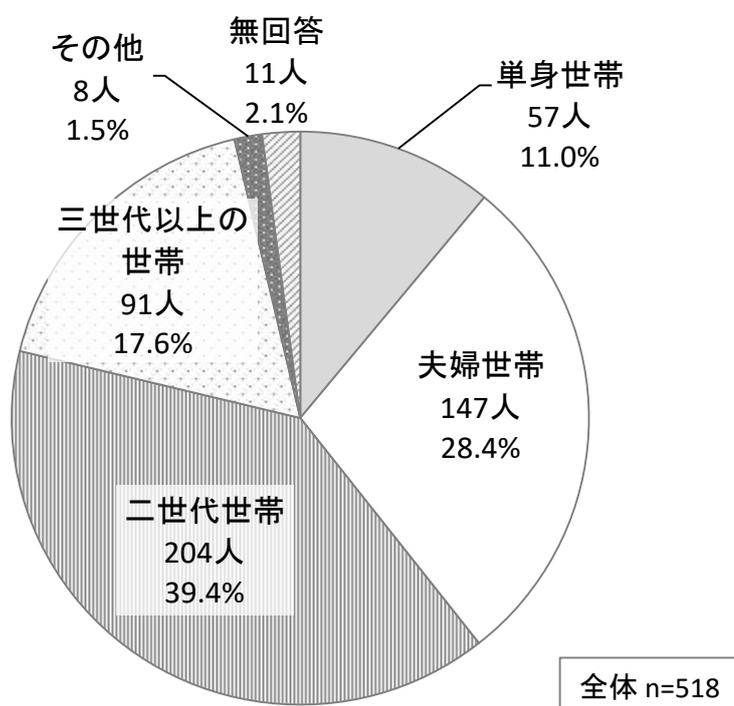
図表3 回答者の年代の内訳



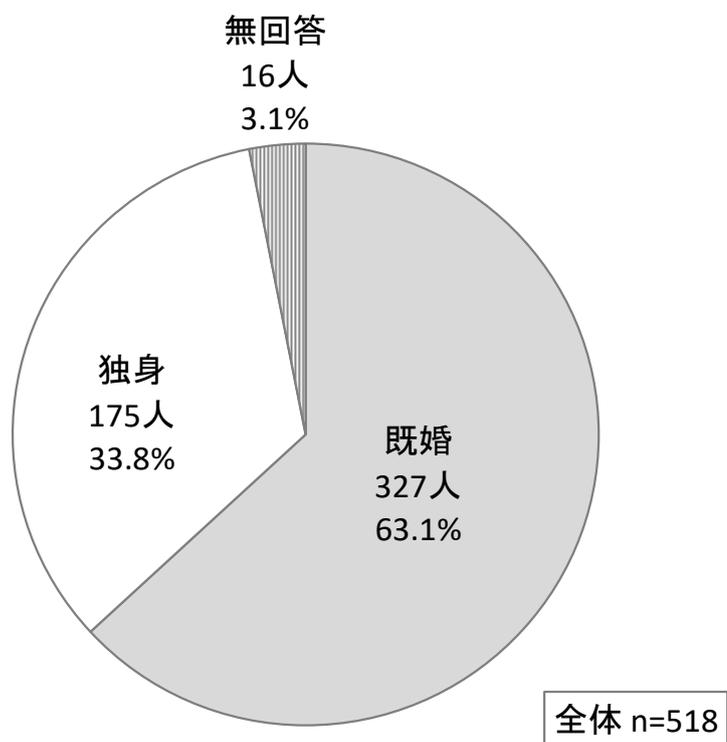
図表4 回答者の居住地の内訳



図表5 回答者の家族構成の内訳



図表6 回答者の婚姻状況の内訳



## 2.4 満足度及び重要度

### 2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.71（昨年度3.61）、「子育て」が3.60（昨年度3.46）、「自然・環境衛生」が3.52（昨年度3.51）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「雇用・就労」が2.84（昨年度2.84）、「商工業」が2.85（昨年度2.90）、「空き家対策」が2.87（昨年度2.82）の順となっている。

上位項目、下位項目とも多少の順位変動はあるものの、項目は昨年度と同様となっている。

昨年度と比較すると、29項目中、20項目で満足度が上昇しており、変動が無かったのは3項目、低下したのは6項目で全体的に満足度が上昇している。中でも、0.05ポイント以上上昇した項目は、3.60で2位の「子育て」（昨年度から0.14ポイント増）、3.42で9位の「社会福祉」（昨年度から0.12ポイント増）、3.71で1位の「保健・医療」（昨年度から0.10ポイント増）、3.41で10位の「社会保障」（昨年度から0.09ポイント増）、3.43で8位の「花火産業構想」（昨年度から0.08ポイント増）、3.45で7位の「地域情報化」（昨年度から0.07ポイント増）、3.47で5位の「スポーツ」（昨年度から0.05ポイント増）、2.87で27位の「空き家対策」（昨年度から0.05ポイント増）の8項目となっている。

一方で、0.05ポイント以上低下した項目は、2.92で26位の「出会い・結婚」（昨年度から0.06ポイント減）、2.85で28位の「商工業」（昨年度から0.05ポイント減）の2項目となっている。

その他の19項目は昨年度から0.04ポイント以内の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 7 満足度（点数順）

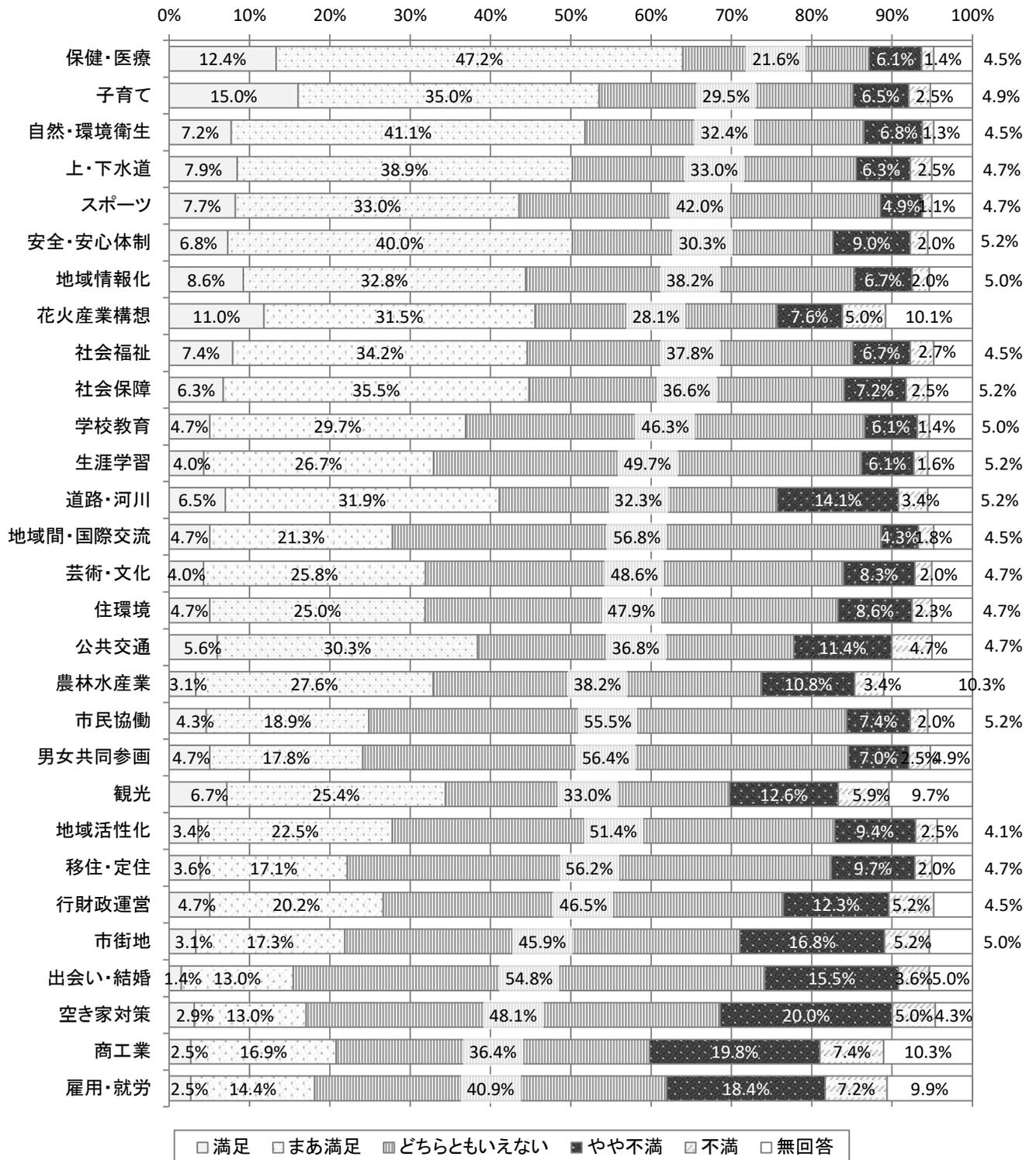
順位		項目	満足度 ※			
R4	R3			R4	R3	増減 (R4-R3)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↖	3.71	3.61	0.10
2	3	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↖	3.60	3.46	0.14
3	2	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	3.52	3.51	0.01
4	3	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	3.49	3.46	0.03
5	6	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↖	3.47	3.42	0.05
6	3	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	3.46	3.46	0.00
7	7	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↖	3.45	3.38	0.07
8	8	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↖	3.43	3.35	0.08
9	11	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に取り組んでいます。	↖	3.42	3.30	0.12
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に取り組んでいます。	↖	3.41	3.32	0.09
11	9	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	3.34	3.34	0.00
12	12	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.29	3.27	0.02
13	14	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	3.27	3.25	0.02
14	15	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	3.26	3.24	0.02
15	18	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.24	3.20	0.04
15	16	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	3.24	3.23	0.01
17	13	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	←	3.23	3.26	▲0.03
18	21	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	3.19	3.16	0.03
19	17	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	3.18	3.21	▲0.03
20	21	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.17	3.16	0.01
20	20	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	←	3.17	3.18	▲0.01
20	18	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	3.17	3.20	▲0.03
23	23	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	3.12	3.10	0.02
24	24	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	←	3.08	3.05	0.03
25	26	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	2.96	2.92	0.04
26	25	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↗	2.92	2.98	▲0.06
27	29	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↖	2.87	2.82	0.05
28	27	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↗	2.85	2.90	▲0.05
29	28	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	←	2.84	2.84	0.00

※満足度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↗ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 8 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



### 2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、満足度は全般的に女性のほうが高く、また、項目については、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、男性は全体の上位5項目に挙げられている項目と同じだが、女性では「スポーツ」が上位5項目から外れており（6位）、5位に全体で8位の「花火産業構想」が挙げられている。なお、男女とも1位から4位までは「保健・医療」「子育て」「自然・環境衛生」「上・下水道」の順になっており、全体の順位と一致している。

下位項目については、順位の入替わりはあるが、男女ともに全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、10代と30代以上で「保健・医療」が挙げられており、40代以上では1位となっている。また、30代以上で「子育て」、20代と40代以上で「自然・環境衛生」、10代から50代で「上・下水道」が挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「商工業」「空き家対策」が挙げられており、20代から70代で「雇用・就労」、50代以外で「出会い・結婚」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」が挙げられており、神岡・太田地域以外で「自然・環境衛生」、中仙・太田地域以外で「上・下水道」が挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「雇用・就労」「商工業」「空き家対策」「市街地」が挙げられており、大曲・西仙北・中仙・南外・太田地域で「出会い・結婚」が挙げられている。

図表9 性別による満足度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.67	25	市街地	2.94
2	子育て	3.57	26	空き家対策	2.90
3	自然・環境衛生	3.54	27	出会い・結婚	2.81
4	上・下水道	3.49	28	雇用・就労	2.78
5	スポーツ	3.48	29	商工業	2.74

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.78	25	出会い・結婚	3.03
2	子育て	3.65	26	商工業	2.99
3	自然・環境衛生	3.54	27	市街地	2.98
4	上・下水道	3.51	28	雇用・就労	2.92
5	花火産業構想	3.50	29	空き家対策	2.86

図表 10 年代別による満足度

## ■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.11
2	上・下水道	4.00
3	スポーツ	3.89
4	保健・医療	3.78
	社会保障	3.78
	安全・安心体制	3.78

## (下位)

順位	項目	満足度
23	出会い・結婚	3.11
	空き家対策	3.11
	生涯学習	3.11
	行財政運営	3.11
27	商工業	3.00
	観光	3.00
29	道路・河川	2.89

## ■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.79
2	自然・環境衛生	3.72
3	上・下水道	3.69
4	芸術・文化	3.62
	生涯学習	3.62

## (下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	3.18
26	商工業	3.16
27	空き家対策	3.15
28	出会い・結婚	3.13
29	市街地	3.11

## ■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	地域情報化	3.77
2	子育て	3.67
3	上・下水道	3.58
4	スポーツ	3.55
5	保健・医療	3.52

## (下位)

順位	項目	満足度
24	空き家対策	3.00
	行財政運営	3.00
26	市街地	2.97
27	出会い・結婚	2.88
28	雇用・就労	2.81
29	商工業	2.77

## ■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.81
2	子育て	3.73
3	自然・環境衛生	3.61
4	地域情報化	3.50
5	上・下水道	3.47

## (下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.93
26	出会い・結婚	2.82
27	空き家対策	2.81
28	商工業	2.75
29	雇用・就労	2.67

## ■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	安全・安心体制	3.47
3	子育て	3.46
4	自然・環境衛生	3.42
5	上・下水道	3.40

## (下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.83
26	空き家対策	2.82
27	雇用・就労	2.71
28	市街地	2.64
29	商工業	2.56

## ■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.69
2	子育て	3.57
3	スポーツ	3.50
4	自然・環境衛生	3.46
5	安全・安心体制	3.45

## (下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.94
26	出会い・結婚	2.91
27	市街地	2.90
28	空き家対策	2.80
29	雇用・就労	2.77

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.77
2	子育て	3.67
3	自然・環境衛生	3.59
4	社会保障	3.54
5	安全・安心体制 スポーツ	3.53

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.07
26	出会い・結婚	3.01
27	雇用・就労	2.93
28	商工業	2.92
29	空き家対策	2.76

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.90
2	子育て	3.68
3	花火産業構想	3.65
4	自然・環境衛生	3.61
5	安全・安心体制	3.57

(下位)

順位	項目	満足度
25	住環境	3.14
26	空き家対策 男女共同参画	3.11
28	商工業	3.04
29	出会い・結婚	2.93

図表 11 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.70
2	子育て	3.64
3	地域情報化	3.48
4	自然・環境衛生	3.47
5	上・下水道	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.95
26	出会い・結婚	2.91
27	空き家対策	2.89
28	商工業	2.87
29	雇用・就労	2.86

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	地域情報化	3.68
3	スポーツ	3.65
4	社会福祉	3.64
5	上・下水道	3.62

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地 行財政運営	3.08
27	空き家対策	2.97
28	商工業	2.79
29	雇用・就労	2.71

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.63
2	花火産業構想	3.61
3	自然・環境衛生	3.59
4	安全・安心体制	3.57
5	上・下水道	3.54

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.04
26	出会い・結婚	2.89
27	雇用・就労	2.80
28	商工業	2.78
29	空き家対策	2.76

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.65
2	自然・環境衛生	3.55
3	子育て	3.50
4	社会福祉	3.42
5	地域間・国際交流 スポーツ	3.34

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.94
26	商工業	2.93
27	雇用・就労	2.86
28	市街地	2.85
29	出会い・結婚	2.84

### ■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.90
2	保健・医療	3.85
3	上・下水道	3.78
4	安全・安心体制	3.63
5	自然・環境衛生	3.58

### (下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	3.13
26	商工業	3.06
27	市街地	3.03
28	雇用・就労	2.97
29	空き家対策	2.88

### ■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.92
2	地域情報化	3.80
3	保健・医療	3.67
	上・下水道	3.67
5	自然・環境衛生	3.57

### (下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	3.08
26	空き家対策	3.00
27	市街地	2.93
28	雇用・就労	2.85
29	出会い・結婚	2.80

### ■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.75
2	自然・環境衛生	3.63
3	上・下水道	3.60
4	花火産業構想	3.56
5	スポーツ	3.50
	地域情報化	3.50

### (下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.95
	行財政運営	2.95
27	空き家対策	2.85
28	雇用・就労	2.82
29	商工業	2.67

### ■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.74
2	子育て	3.61
3	スポーツ	3.54
4	安全・安心体制	3.50
5	社会保障	3.47

### (下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.89
26	雇用・就労	2.81
27	空き家対策	2.72
28	出会い・結婚	2.70
29	商工業	2.67

#### 2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.39（昨年度4.36）、「子育て」が4.36（昨年度4.27）、「雇用・就労」が4.34（昨年度4.26）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.38（昨年度3.31）、「スポーツ」が3.43（昨年度3.42）、「芸術・文化」が3.57（昨年度3.56）の順となっている。

上位項目では、「子育て」が昨年度3位から2位に、「雇用・就労」が昨年度4位から3位に上昇しており、昨年度2位の「安全・安心体制」が5位に下降している。下位項目では、「芸術・文化」が昨年度25位から27位に下降しており、昨年度27位の「市民協働」が25位に上昇している。

昨年度と比較すると、29項目中、25項目で重要度が上昇しており、変動が無かったのは4項目で、低下した項目は無かった。過半数以上の18項目で0.05ポイント以上上昇しており、中でも、3.85で同順17位の「住環境」（昨年度から0.13ポイント増）、3.82で19位の「移住・定住」（昨年度から0.13ポイント増）、3.86で16位の「出会い・結婚」（昨年度から0.12ポイント増）、4.31で4位の「社会福祉」（昨年度から0.11ポイント増）、4.19で7位の「農林水産業」（昨年度から0.11ポイント増）、3.60で25位の「市民協働」（昨年度から0.11ポイント増）、3.85で同順17位の「観光」（昨年度から0.10ポイント増）の7項目は、前回より0.10ポイント以上上昇している。

図表 12 重要度（点数順）

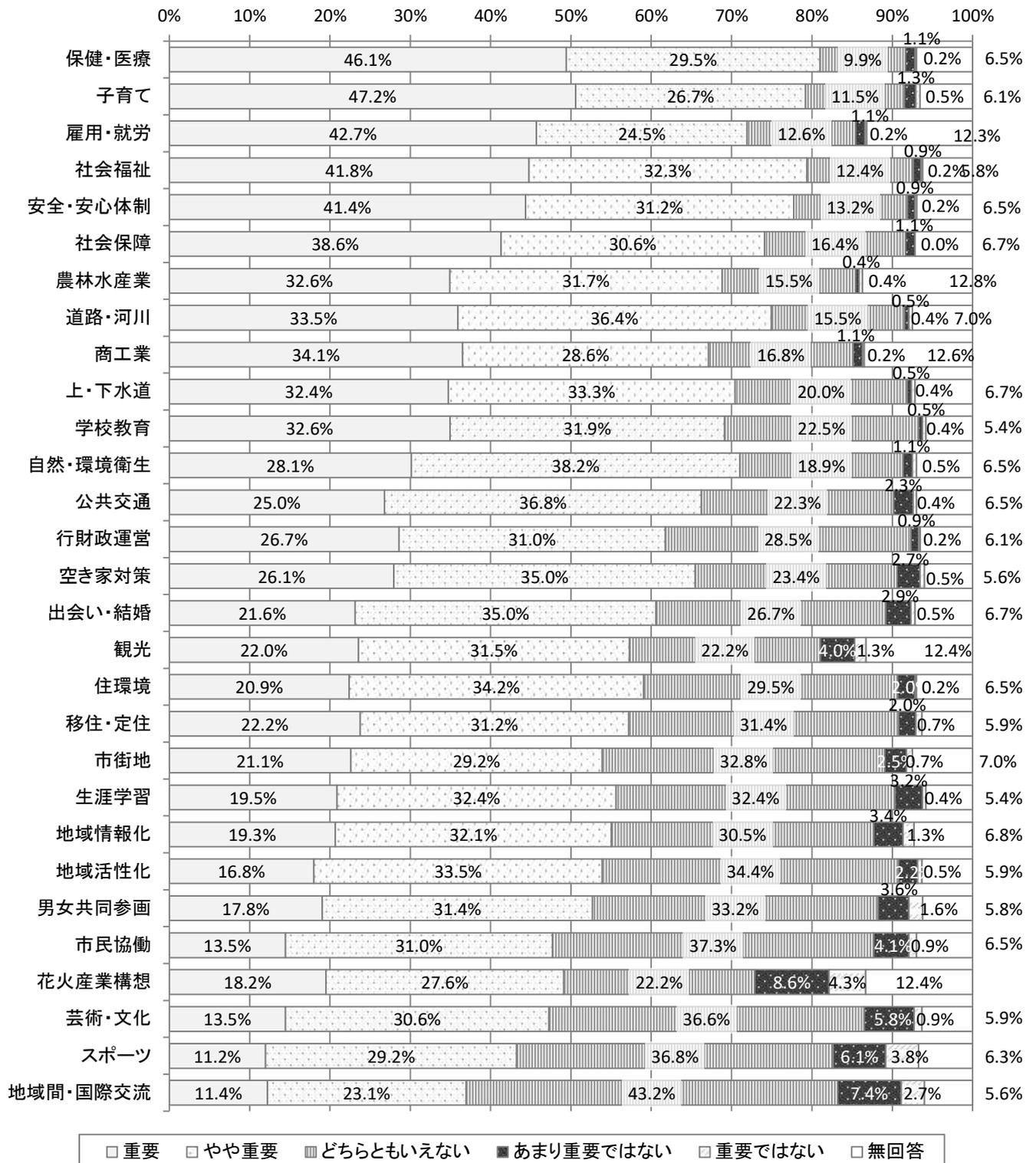
順位		項目	重要度 ※			
R4	R3		R4	R3	増減 (R4-R3)	
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	4.39	4.36	0.03
2	3	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↗	4.36	4.27	0.09
3	4	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↗	4.34	4.26	0.08
4	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↗	4.31	4.20	0.11
5	2	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	4.30	4.30	0.00
6	7	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↗	4.23	4.14	0.09
7	9	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↗	4.19	4.08	0.11
8	8	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↗	4.18	4.10	0.08
8	6	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	4.18	4.16	0.02
10	11	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↗	4.12	4.03	0.09
11	10	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	4.09	4.07	0.02
12	12	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↗	4.06	4.01	0.05
13	14	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↗	3.96	3.91	0.05
14	15	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↗	3.95	3.88	0.07
14	13	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	←	3.95	3.92	0.03
16	20	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↗	3.86	3.74	0.12
17	17	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↗	3.85	3.75	0.10
17	21	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↗	3.85	3.72	0.13
19	22	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↗	3.82	3.69	0.13
20	17	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	3.78	3.75	0.03
21	16	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.77	3.77	0.00
22	17	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	3.75	3.75	0.00
23	24	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↗	3.73	3.66	0.07
24	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.69	3.69	0.00
25	27	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↗	3.60	3.49	0.11
26	26	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↗	3.58	3.51	0.07
27	25	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.57	3.56	0.01
28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	3.43	3.42	0.01
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↗	3.38	3.31	0.07

## ※重要度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↗ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↘ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

## 2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 13 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



#### 2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5項目に挙げられている項目と同じだが、男性では同順5位に全体で8位の「商工業」が挙げられている。

下位項目については、男女とも全体と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」、70代以外で「子育て」が挙げられている。なお、「保健・医療」は40代と70代で、「子育て」は30代と60代で1位となっている。60代以下では「雇用・就労」、10代から50代と70代で「社会福祉」、50代以外で「安全・安心体制」が挙げられている。また、10代、50代、70代以上では「社会保障」、20代と70代以上では「道路・河川」も挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「地域間・国際交流」、10代以外で「スポーツ」、20代と40代以上で「芸術・文化」が挙げられており、20代以下、40代から60代、80代では「花火産業構想」、20代から70代では「市民協働」が挙げられている。また、30代と70代では「地域情報化」、10代と80代で「市街地」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、南外地域以外で「保健・医療」が挙げられており、神岡・太田地域では1位となっている。協和・南外地域以外では「子育て」が挙げられており、西仙北・中仙・仙北地域で1位となっている。また、神岡・中仙・太田地域で「農林水産業」、西仙北・協和・南外・太田地域で「社会保障」、中仙・協和・南外・仙北地域で「道路・河川」がそれぞれ挙げられており、協和地域では「道路・河川」、南外地域では「社会保障」がそれぞれ1位となっている。

下位項目については、全ての地域で「地域間・国際交流」「スポーツ」「芸術・文化」が挙げられている。また、大曲・神岡・中仙・仙北・太田地域で「花火産業構想」、南外・太田地域以外で「市民協働」が挙げられている。

図表 14 性別による重要度

**■男性** (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.34
2	雇用・就労	4.33
	保健・医療	4.33
4	社会福祉	4.25
5	安全・安心体制	4.20
	商工業	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.51
26	市民協働	3.46
27	花火産業構想	3.45
28	スポーツ	3.38
29	地域間・国際交流	3.24

**■女性** (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.46
2	子育て	4.41
3	安全・安心体制	4.38
4	社会福祉	4.37
5	雇用・就労	4.35

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.73
26	花火産業構想	3.66
27	芸術・文化	3.64
28	地域間・国際交流	3.53
29	スポーツ	3.50

図表 15 年代による重要度

**■10代** (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	5.00
2	子育て	4.88
3	自然・環境衛生	4.75
	上・下水道	4.75
5	保健・医療	4.63
	安全・安心体制	4.63
	社会保障	4.63
	観光	4.63
	移住・定住	4.63
	雇用・就労	4.63

(下位)

順位	項目	重要度
24	花火産業構想	3.88
	空き家対策	3.88
	商工業	3.88
27	地域間・国際交流	3.75
	出会い・結婚	3.75
29	市街地	3.63

**■20代** (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.49
2	子育て	4.38
3	雇用・就労	4.37
	道路・河川	4.37
5	社会福祉	4.36
	保健・医療	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.87
26	スポーツ	3.82
27	市民協働	3.79
28	芸術・文化	3.74
29	地域間・国際交流	3.72

**■30代** (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.70
2	社会福祉	4.49
3	雇用・就労	4.48
4	保健・医療	4.46
5	商工業	4.44
	安全・安心体制	4.44

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.67
26	地域活性化	3.61
27	市民協働	3.53
28	スポーツ	3.42
29	地域間・国際交流	3.21

## ■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.58
2	雇用・就労	4.57
3	子育て	4.47
4	安全・安心体制	4.42
5	社会福祉	4.39

## (下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.62
26	芸術・文化	3.47
27	花火産業構想	3.39
28	スポーツ	3.31
29	地域間・国際交流	3.22

## ■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.42
2	雇用・就労	4.39
3	子育て	4.36
4	保健・医療	4.34
5	社会保障	4.25

## (下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.58
26	芸術・文化	3.53
27	花火産業構想	3.37
28	スポーツ	3.31
29	地域間・国際交流	3.22

## ■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.30
2	雇用・就労	4.28
	保健・医療	4.28
4	安全・安心体制	4.27
	農林水産業	4.27

## (下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.52
	芸術・文化	3.52
27	花火産業構想	3.46
28	スポーツ	3.39
29	地域間・国際交流	3.36

## ■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.39
2	道路・河川	4.21
3	社会福祉	4.20
4	社会保障	4.19
5	安全・安心体制	4.18

## (下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.59
	市民協働	3.59
27	地域情報化	3.58
28	地域間・国際交流	3.53
29	スポーツ	3.47

## ■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	道路・河川	4.37
2	保健・医療	4.30
3	社会保障	4.28
4	安全・安心体制	4.27
5	子育て	4.25

## (下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.67
26	地域間・国際交流	3.64
	花火産業構想	3.64
28	芸術・文化	3.61
29	スポーツ	3.43

図表 16 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.39
2	安全・安心体制	4.38
3	保健・医療	4.37
4	子育て	4.33
	社会福祉	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.61
26	芸術・文化	3.58
27	市民協働	3.56
28	スポーツ	3.39
29	地域間・国際交流	3.29

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.43
2	農林水産業	4.42
3	安全・安心体制	4.39
4	子育て	4.34
5	社会福祉	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.72
26	スポーツ	3.71
27	芸術・文化	3.67
28	花火産業構想	3.55
29	地域間・国際交流	3.50

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.42
2	保健・医療	4.36
	安全・安心体制	4.36
4	雇用・就労	4.33
5	社会保障	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.49
26	市街地	3.42
27	芸術・文化	3.38
	地域間・国際交流	3.38
29	スポーツ	3.07

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.48
2	保健・医療	4.46
3	社会福祉	4.44
4	道路・河川	4.37
5	農林水産業	4.35

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.73
26	芸術・文化	3.64
27	地域間・国際交流	3.57
28	スポーツ	3.51
29	花火産業構想	3.45

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	道路・河川	4.41
2	保健・医療	4.38
	社会福祉	4.38
4	雇用・就労	4.33
5	社会保障	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.56
	芸術・文化	3.56
27	市民協働	3.51
28	地域間・国際交流	3.38
29	スポーツ	3.35

### ■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会保障	4.54
2	道路・河川	4.27
	上・下水道	4.27
5	学校教育	4.27
	雇用・就労	4.25

### (下位)

順位	項目	重要度
24	スポーツ	3.79
	地域活性化	3.79
26	市街地	3.73
	芸術・文化	3.73
28	男女共同参画	3.71
29	地域間・国際交流	3.47

### ■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.48
2	保健・医療	4.40
3	雇用・就労	4.38
4	商工業	4.31
5	社会福祉	4.20
	道路・河川	4.20

### (下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.68
26	花火産業構想	3.67
27	スポーツ	3.63
28	市民協働	3.60
29	地域間・国際交流	3.28

### ■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.42
2	子育て	4.39
3	農林水産業	4.26
4	社会福祉	4.25
5	社会保障	4.23

### (下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.51
	地域間・国際交流	3.51
27	芸術・文化	3.47
28	スポーツ	3.45
29	花火産業構想	3.31

#### 2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が 1.50（昨年度 1.42）、「商工業」が 1.33（昨年度 1.20）、「空き家対策」が 1.08（昨年度 1.06）の順となっており、上位 4 項目までは昨年度と同じ順位となっている。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が -0.04（昨年度 0.00）、「地域間・国際交流」が 0.12（昨年度 0.07）、「花火産業構想」が 0.15（昨年度 0.16）の順となっており、下位 3 項目は昨年度と同じ順位となっている。

昨年度と比較すると、満足度と重要度のどちらも全体的に上昇したが、重要度の上昇幅が大きかったため、結果的に要望度も全体的に上昇している。

要望度が 0.15 ポイント以上上昇した項目は、0.94 で 5 位の「出会い・結婚」（昨年度から 0.18 ポイント増）で昨年度の 12 位から大きく順位を上げた。その他の項目については大きな順位の変動は無かった。

図表 17 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項目	要望度 ※			
R4	R3			R4	R3	増減 (R4-R3)
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↔	1.50	1.42	0.08
2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↔	1.33	1.20	0.13
3	3	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	←	1.08	1.06	0.02
4	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↔	1.00	0.92	0.08
5	12	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↑	0.94	0.76	0.18
6	5	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	0.91	0.91	0.00
7	6	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	0.89	0.90	▲ 0.01
8	7	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	←	0.87	0.87	0.00
9	8	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	0.84	0.84	0.00
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	←	0.82	0.82	0.00
10	9	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	0.82	0.83	▲ 0.01
12	11	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↔	0.76	0.81	▲ 0.05
13	14	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	0.75	0.73	0.02
14	15	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↔	0.73	0.65	0.08
15	16	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↔	0.70	0.59	0.11
16	17	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↔	0.68	0.57	0.11
16	13	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↔	0.68	0.75	▲ 0.07
18	17	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↔	0.63	0.57	0.06
19	22	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↔	0.61	0.49	0.12
20	23	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↔	0.56	0.46	0.10
21	20	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	0.54	0.50	0.04
22	19	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	0.52	0.53	▲ 0.01
23	20	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	0.48	0.50	▲ 0.02
24	26	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↔	0.42	0.28	0.14
25	25	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	0.33	0.36	▲ 0.03
26	24	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↔	0.30	0.37	▲ 0.07
27	27	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	0.15	0.16	▲ 0.01
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↔	0.12	0.07	0.05
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	-0.04	0.00	▲ 0.04

※要望度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↔ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↔ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

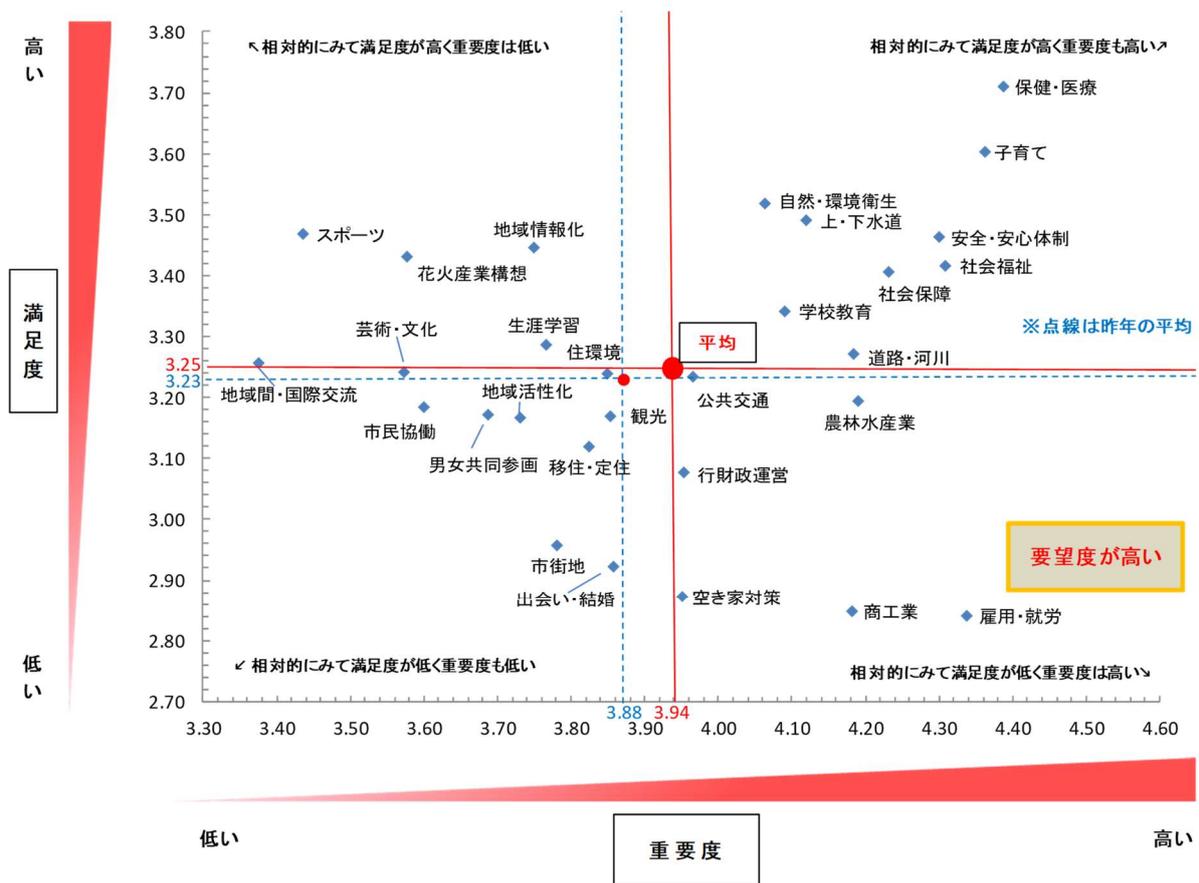
### 2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 18 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 18 満足度・重要度の項目別比較



## 2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

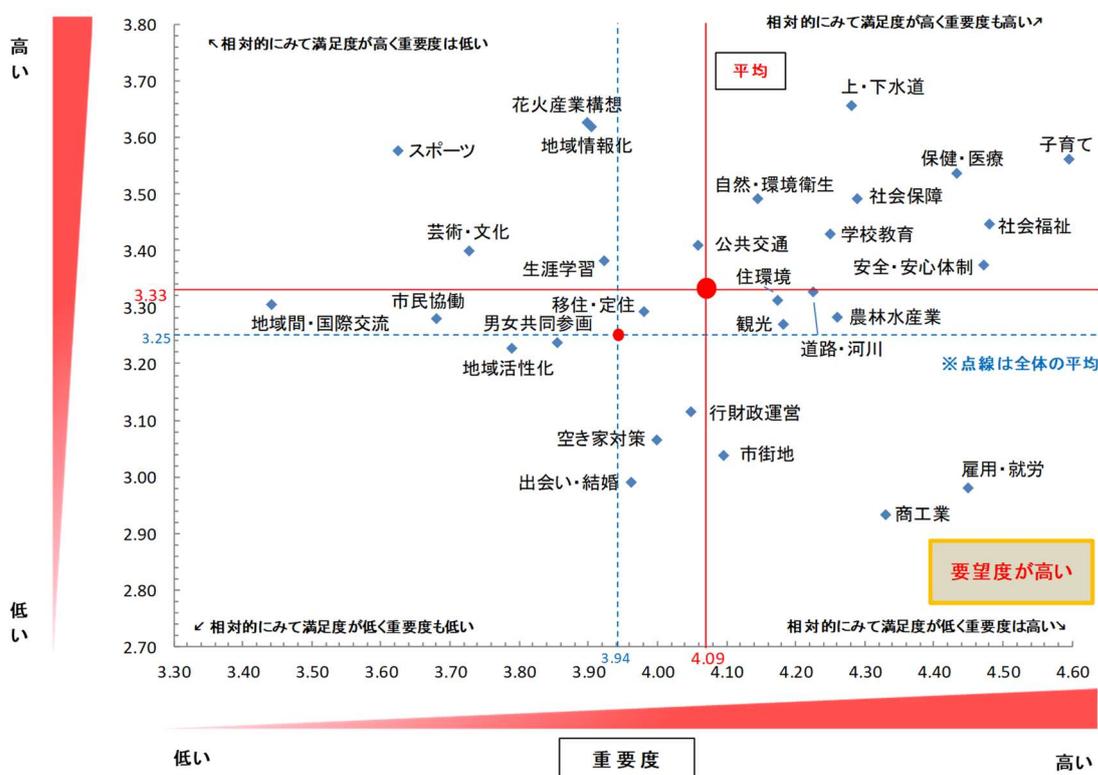
18歳から39歳まで(図表19)、40歳から64歳まで(図表20)、65歳以上(図表21)の3つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

18歳から39歳までの年齢層では、全般的に満足度と重要度のどちらも高くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。満足度は、他の年齢層では「保健・医療」が最も高いのに対し、「上・下水道」が最も高くなっている。また、重要度は「子育て」が最も高くなっている。

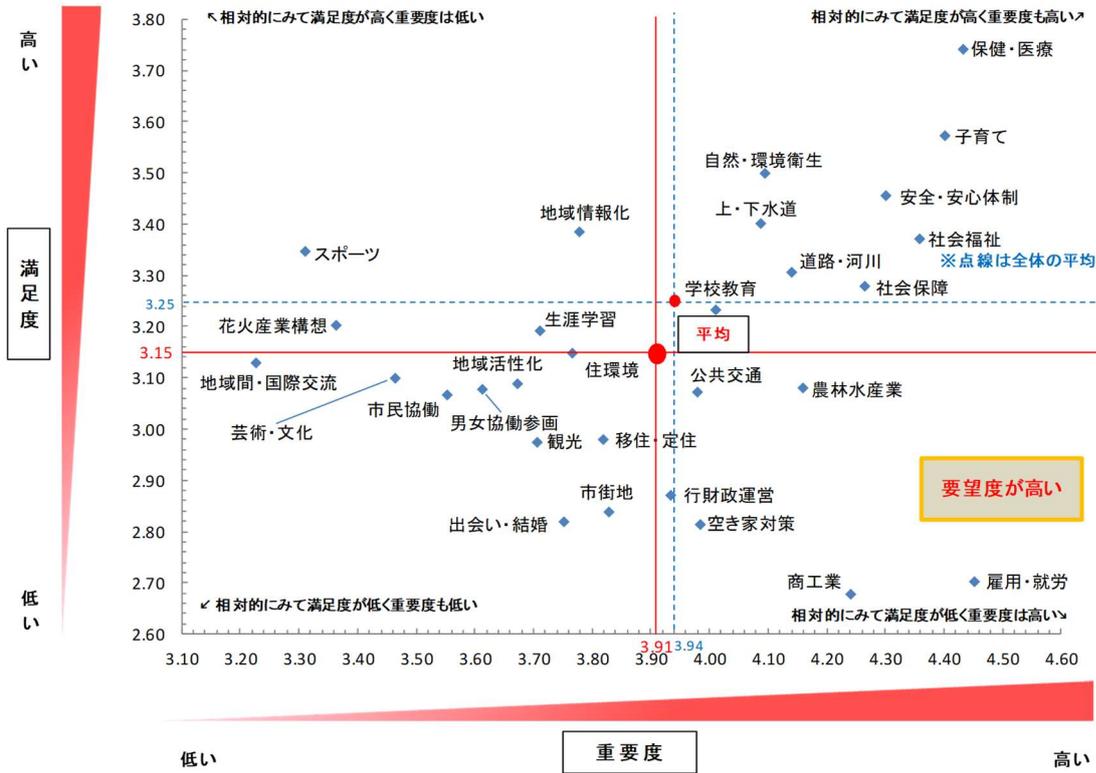
40歳から64歳までの年齢層では、全般的に満足度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。重要度は、「雇用・就労」が最も高くなっている。

65歳以上の年齢層では、全般的に満足度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は、他の年齢層に共通する「雇用・就労」「商工業」に加え、「空き家対策」「道路・河川」も高くなっている。満足度は、他の年齢層では「商工業」が最も低くなっているのに対し、「空き家対策」が最も低くなっている。また、重要度は、他の年齢層では「地域間・国際交流」が最も低くなっているのに対し、「スポーツ」が最も低くなっている。

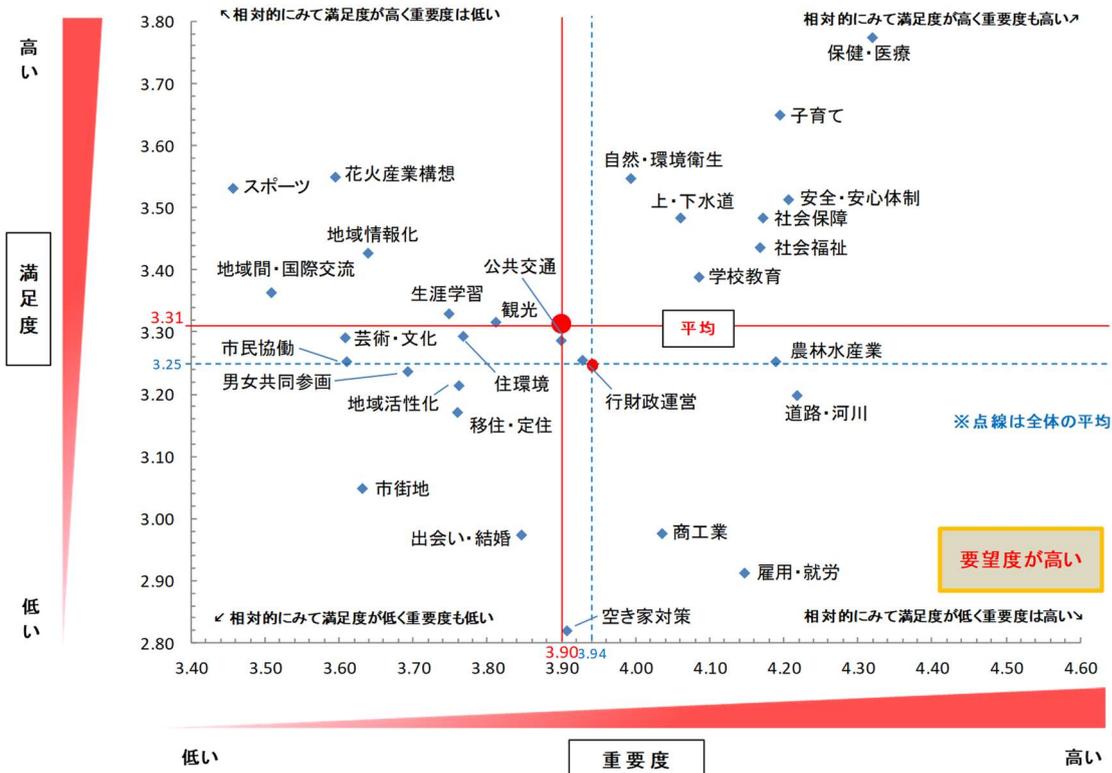
図表19 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 21 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



## 2.5 さらに推進すべき取り組み

### 2.5.1 産業分野に関する設問について

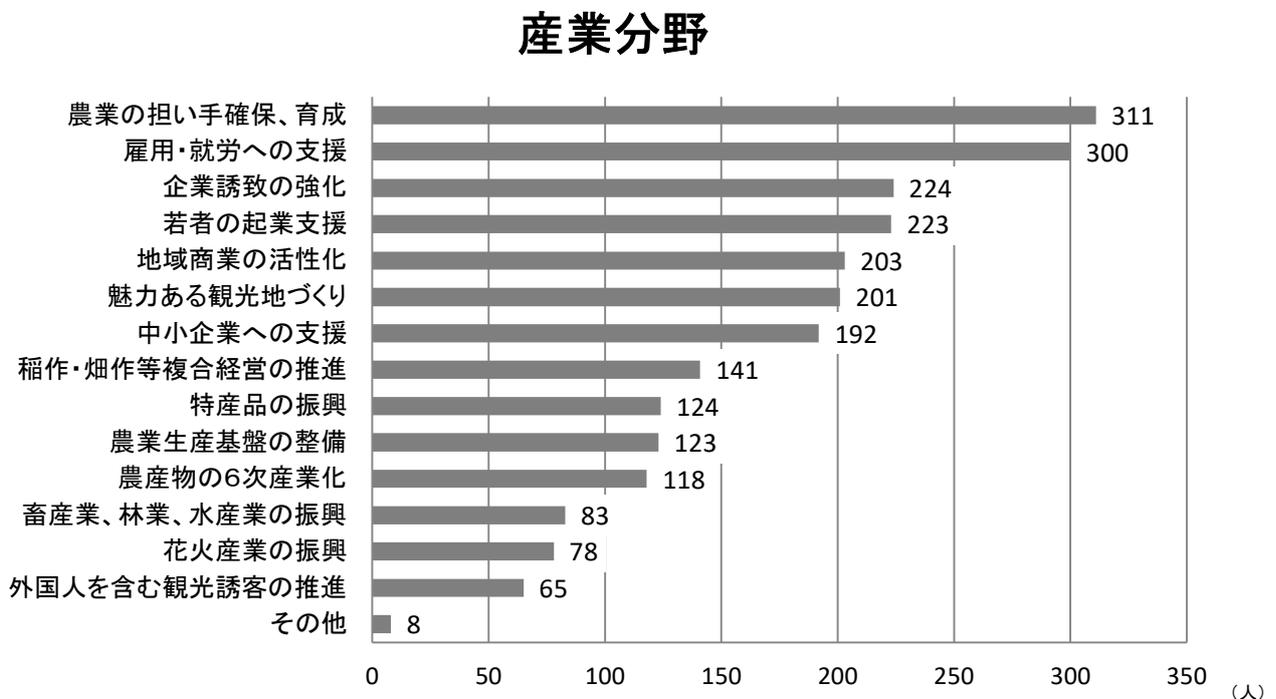
さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「企業誘致の強化」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客の推進」「花火産業の振興」「畜産業、林業、水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、10代で「若者の起業支援」、20代と60代以上で「農業の担い手確保、育成」、30代から50代で「雇用・就労への支援」が最も多くなっている。また、10代から50代では「魅力ある観光地づくり」、40代以上で「企業誘致の強化」が上位に入っている。

地域別で見ると、上位の項目に大きな差異は見られないが、神岡・西仙北・協和・仙北・太田地域では全体の上位5項目に入っていない「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

## ■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	7
2	農業の担い手確保、育成	5
	魅力ある観光地づくり	5
4	地域商業の活性化	4
	特産品の振興	4

## ■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
	中小企業への支援	16
2	魅力ある観光地づくり	16
	雇用・就労への支援	16
5	若者の起業支援	15

## ■30代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	36
2	中小企業への支援	30
3	農業の担い手確保、育成	29
4	若者の起業支援	27
5	地域商業の活性化	26
	魅力ある観光地づくり	26

## ■40代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	50
2	農業の担い手確保、育成	48
3	中小企業への支援	39
4	企業誘致の強化	36
	魅力ある観光地づくり	36

## ■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	56
2	企業誘致の強化	47
3	農業の担い手確保、育成	42
4	魅力ある観光地づくり	33
5	中小企業への支援	32

## ■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	雇用・就労への支援	64
3	若者の起業支援	52
4	企業誘致の強化	47
5	地域商業の活性化	46

## ■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	雇用・就労への支援	58
3	若者の起業支援	50
4	企業誘致の強化	44
5	地域商業の活性化	38

## ■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	16
2	雇用・就労への支援	15
3	若者の起業支援	14
4	地域商業の活性化	12
5	企業誘致の強化	11

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	130
2	農業の担い手確保、育成	125
3	若者の起業支援	95
4	企業誘致の強化	92
5	地域商業の活性化	87

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	企業誘致の強化	24
	雇用・就労への支援	24
3	農業の担い手確保、育成	22
4	魅力ある観光地づくり	18
5	若者の起業支援	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	35
2	雇用・就労への支援	31
3	若者の起業支援	24
4	地域商業の活性化	23
5	魅力ある観光地づくり	22

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
	雇用・就労への支援	39
3	地域商業の活性化	31
	若者の起業支援	31
5	企業誘致の強化	30

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用・就労への支援	21
3	企業誘致の強化	15
	魅力ある観光地づくり	15
5	地域商業の活性化	14
	若者の起業支援	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	8
	農業生産基盤の整備	8
3	稲作・畑作等複合経営の推進	7
	地域商業の活性化	7
5	中小企業への支援	6
	若者の起業支援	6
	特産品の振興	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用・就労への支援	24
3	企業誘致の強化	23
4	地域商業の活性化	19
	魅力ある観光地づくり	19

■太田地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	24
2	農業の担い手確保、育成	23
3	若者の起業支援	21
4	企業誘致の強化	18
	魅力ある観光地づくり	18

### 2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

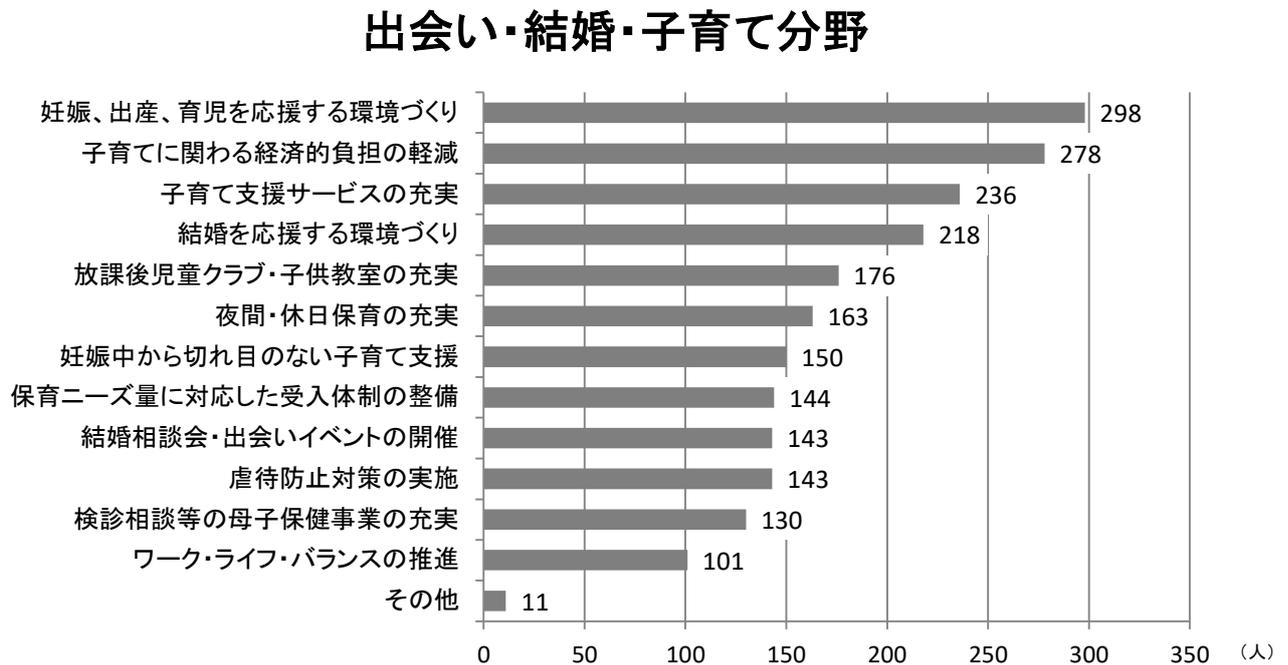
さらに推進すべき取り組みの上位は、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「子育てに関わる経済的負担の軽減」「子育て支援サービスの充実」の順となっている。

一方、下位は、「ワーク・ライフ・バランスの推進」「検診相談等の母子保健事業の充実」「虐待防止対策の実施」「結婚相談会・出会いイベントの開催」の順となっている。

年代別で見ると、10代から30代と50代で全体の上位5項目に入っていない「妊娠中から切れ目のない子育て支援」が上位に入っている。また、70代以上で「結婚を応援する環境づくり」が「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」よりも上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で子育てに関する項目が多く挙げられている。また、大曲・中仙・南外・太田地域では「放課後児童クラブ・子供教室の充実」が上位に入っている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	妊娠中から切れ目のない子育て支援	5
	子育て支援サービスの充実	5
	子育てに関わる経済的負担の軽減	5
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	4
	ワーク・ライフ・バランスの推進	4

■20代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	20
3	子育て支援サービスの充実	17
4	結婚を応援する環境づくり	15
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	13
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	13

■30代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	39
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
3	子育て支援サービスの充実	27
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	26
5	結婚を応援する環境づくり	25
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	25

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	51
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
3	子育て支援サービスの充実	36
4	結婚を応援する環境づくり	31
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	31

■50代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	57
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
3	子育て支援サービスの充実	39
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	30
5	結婚を応援する環境づくり	28
	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	28

■60代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	64
2	子育て支援サービスの充実	60
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
4	結婚を応援する環境づくり	49
5	夜間・休日保育の充実	40

■70代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	54
2	結婚を応援する環境づくり	53
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	49
4	子育て支援サービスの充実	38
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	36

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	15
	子育てに関わる経済的負担の軽減	15
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	13
	子育て支援サービスの充実	13
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	9

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

## ■大曲地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	120
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	107
3	子育て支援サービスの充実	94
4	結婚を応援する環境づくり	80
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	75

## ■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
3	結婚を応援する環境づくり	24
	子育て支援サービスの充実	24
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	22

## ■協和地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	17
3	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	15
4	夜間・休日保育の充実	14
5	結婚を応援する環境づくり	13

## ■仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
2	結婚を応援する環境づくり	23
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
4	子育て支援サービスの充実	20
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援 ワーク・ライフ・バランスの推進	15

## ■神岡地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	21
	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
3	子育て支援サービスの充実	19
4	夜間・休日保育の充実	16
5	結婚を応援する環境づくり	14

## ■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
3	結婚を応援する環境づくり	38
4	子育て支援サービスの充実	32
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	26

## ■南外地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
3	子育て支援サービスの充実	10
4	結婚を応援する環境づくり	5
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援 放課後児童クラブ・子供教室の充実	4

## ■太田地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	29
2	子育て支援サービスの充実	24
	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
4	結婚を応援する環境づくり	20
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援 放課後児童クラブ・子供教室の充実	15

### 2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

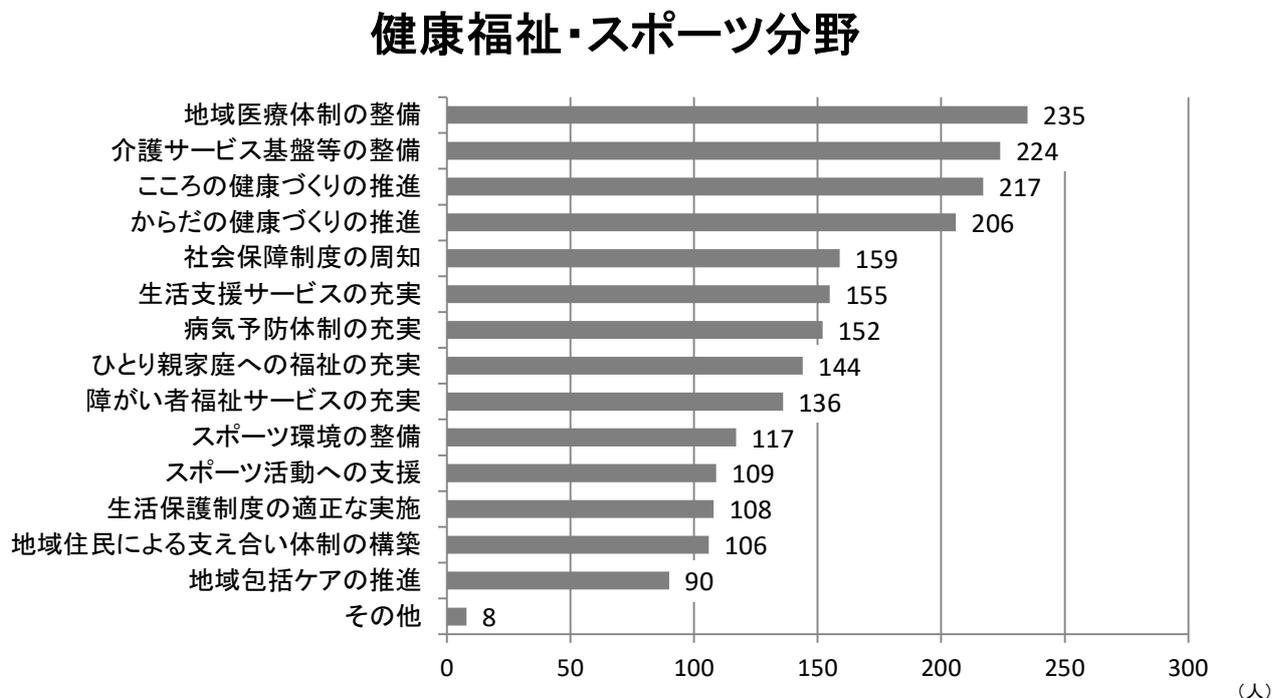
さらに推進すべき取り組みの上位は、「地域医療体制の整備」「介護サービス基盤等の整備」「こころの健康づくりの推進」の順となっている。

一方、下位は、「地域包括ケアの推進」「地域住民による支え合い体制の構築」「生活保護制度の適正な実施」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「地域医療体制の整備」、50代以外で「からだの健康づくりの推進」、80代以外で「こころの健康づくりの推進」が上位に入っている。また、20代から40代で「ひとり親家庭への福祉の充実」、50代、60代、80代で「生活支援サービスの充実」、70代以上で「病気予防体制の充実」が上位に入っており、10代では全体で下位に入っているスポーツに関する項目が上位に入っている。

地域別で見ると、神岡・西仙北・中仙・協和地域では「地域医療体制の整備」が最も多くなっている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「病気予防体制の充実」「生活支援サービスの充実」が多く挙げられている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

## ■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	5
	社会保障制度の周知	5
3	からだの健康づくりの推進	4
	地域住民による支え合い体制の構築	4
5	介護サービス基盤等の整備	3
	障がい者福祉サービスの充実	3
	スポーツ活動への支援	3
	スポーツ環境の整備	3

## ■20代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	21
2	こころの健康づくりの推進	20
3	地域医療体制の整備	15
4	ひとり親家庭への福祉の充実	14
5	介護サービス基盤等の整備	13

## ■30代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	30
2	地域医療体制の整備	29
3	からだの健康づくりの推進	23
4	介護サービス基盤等の整備	22
5	ひとり親家庭への福祉の充実	21

## ■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	37
2	こころの健康づくりの推進	36
3	介護サービス基盤等の整備	32
4	からだの健康づくりの推進	27
	ひとり親家庭への福祉の充実	27
	社会保障制度の周知	27

## ■50代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	39
2	地域医療体制の整備	38
3	社会保障制度の周知	31
4	こころの健康づくりの推進	28
5	生活支援サービスの充実	27

## ■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	55
2	介護サービス基盤等の整備	50
3	からだの健康づくりの推進	49
4	こころの健康づくりの推進	43
5	生活支援サービスの充実	37

## ■70代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	50
2	地域医療体制の整備	45
3	からだの健康づくりの推進	40
	こころの健康づくりの推進	40
5	病気予防体制の充実	39

## ■80代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	14
	地域医療体制の整備	14
	介護サービス基盤等の整備	14
4	病気予防体制の充実	13
	生活支援サービスの充実	13

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	95
2	地域医療体制の整備	90
3	からだの健康づくりの推進	86
4	介護サービス基盤等の整備	84
5	病気予防体制の充実	65

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	19
2	からだの健康づくりの推進	16
	介護サービス基盤等の整備	16
4	スポーツ環境の整備	14
5	こころの健康づくりの推進	13
	社会保障制度の周知	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	30
2	介護サービス基盤等の整備	26
3	こころの健康づくりの推進	21
	ひとり親家庭への福祉の充実	21
5	からだの健康づくりの推進	17
	障がい者福祉サービスの充実	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	37
2	介護サービス基盤等の整備	34
3	からだの健康づくりの推進	33
4	こころの健康づくりの推進	28
5	社会保障制度の周知	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	20
2	介護サービス基盤等の整備	19
3	生活支援サービスの充実	14
4	からだの健康づくりの推進	13
5	こころの健康づくりの推進	11
	社会保障制度の周知	11
	生活保護制度の適正な実施	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	7
2	地域医療体制の整備	6
	介護サービス基盤等の整備	6
4	病気予防体制の充実	5
	地域包括ケアの推進	5
	生活支援サービスの充実	5
	生活保護制度の適正な実施	5
	スポーツ活動への支援	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	21
2	こころの健康づくりの推進	20
3	社会保障制度の周知	16
4	地域医療体制の整備	15
	介護サービス基盤等の整備	15

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	23
2	こころの健康づくりの推進	22
3	地域医療体制の整備	18
	病気予防体制の充実	18
5	生活支援サービスの充実	17

### 2.5.4 環境安全分野に関する設問について

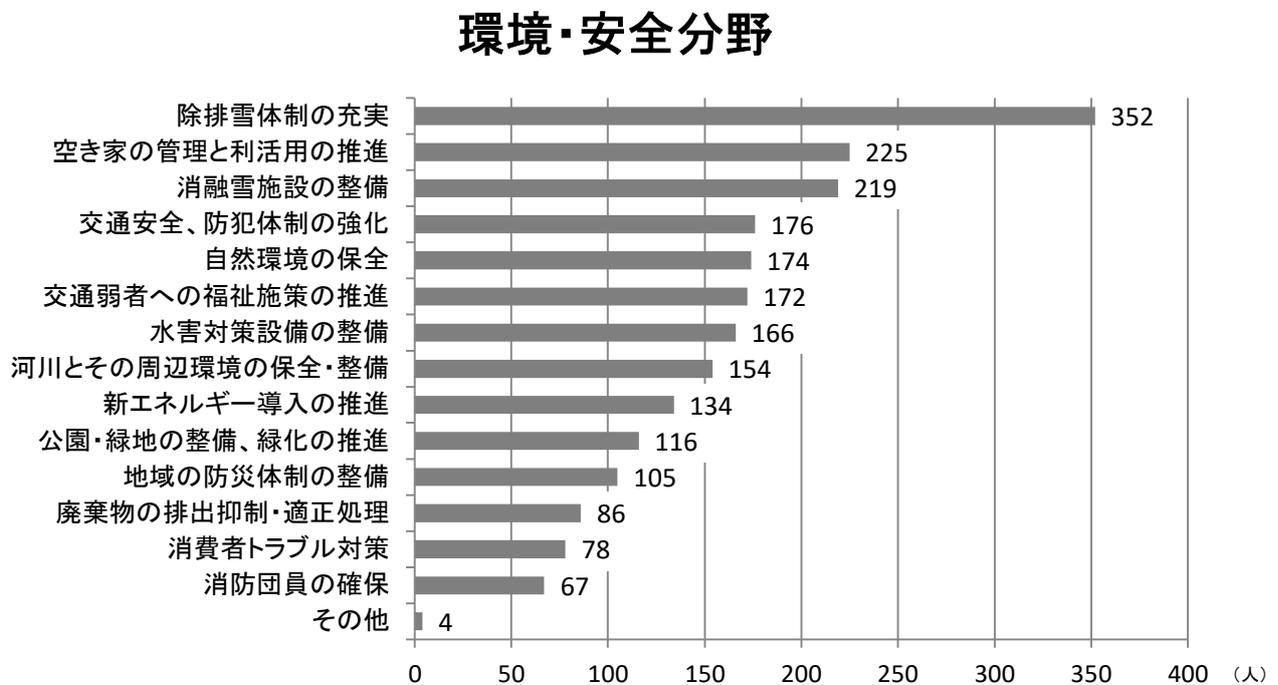
さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の管理と利活用の推進」「消融雪施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「消防団員の確保」「消費者トラブル対策」「廃棄物の排出抑制・適正処理」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、10代では2番目に多くなっている。また、10代、40代、50代、70代以上では「交通弱者への福祉施策の推進」、20代、30代、60代で「水害対策設備の整備」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、南外地域以外で「空き家の管理と利活用の推進」、中仙・太田地域以外で「消融雪施設の整備」が上位に入っている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「交通弱者への福祉施策の推進」「河川とその周辺環境の保全・整備」が多く挙げられている。

図表 31 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	6
2	除排雪体制の充実	5
	河川とその周辺環境の保全・整備	5
4	交通弱者への福祉施策の推進	4
	公園・緑地の整備、緑化の推進	4

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
2	消融雪施設の整備	16
3	自然環境の保全	15
	交通安全、防犯体制の強化	15
5	水害対策設備の整備	13

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	44
2	消融雪施設の整備	33
3	空き家の管理と利活用の推進	24
4	自然環境の保全	20
	水害対策設備の整備	20
	公園・緑地の整備、緑化の推進	20

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	62
2	空き家の管理と利活用の推進	42
3	消融雪施設の整備	40
4	交通安全、防犯体制の強化	32
5	交通弱者への福祉施策の推進	30

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	58
2	消融雪施設の整備	37
3	空き家の管理と利活用の推進	36
4	交通弱者への福祉施策の推進	30
5	交通安全、防犯体制の強化	28

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	71
2	空き家の管理と利活用の推進	48
3	自然環境の保全	39
	水害対策設備の整備	39
5	消融雪施設の整備	37

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	65
2	空き家の管理と利活用の推進	45
3	消融雪施設の整備	39
4	交通安全、防犯体制の強化	38
5	交通弱者への福祉施策の推進	37

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
2	自然環境の保全	13
3	交通弱者への福祉施策の推進	12
	消融雪施設の整備	12
	空き家の管理と利活用の推進	12

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

## ■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	155
2	消融雪施設の整備	108
3	空き家の管理と利活用の推進	85
4	自然環境の保全	70
5	水害対策設備の整備	68

## ■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	空き家の管理と利活用の推進	16
3	交通安全、防犯体制の強化	13
	消融雪施設の整備	13
5	自然環境の保全	11

## ■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	35
2	水害対策設備の整備	23
3	交通安全、防犯体制の強化	22
	交通弱者への福祉施策の推進	22
	消融雪施設の整備	22
	空き家の管理と利活用の推進	22

## ■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	42
2	空き家の管理と利活用の推進	35
3	交通安全、防犯体制の強化	29
4	自然環境の保全	27
5	河川とその周辺環境の保全・整備	26

## ■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	28
2	自然環境の保全	18
3	空き家の管理と利活用の推進	14
4	交通安全、防犯体制の強化	13
	消融雪施設の整備	13

## ■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	9
2	交通弱者への福祉施策の推進	6
	河川とその周辺環境の保全・整備	6
4	自然環境の保全	5
	消融雪施設の整備	5

## ■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	29
2	空き家の管理と利活用の推進	21
3	交通弱者への福祉施策の推進	18
	消融雪施設の整備	18
	河川とその周辺環境の保全・整備	18

## ■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
	空き家の管理と利活用の推進	25
3	交通弱者への福祉施策の推進	19
4	河川とその周辺環境の保全・整備	16
5	交通安全、防犯体制の強化	14

## 2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

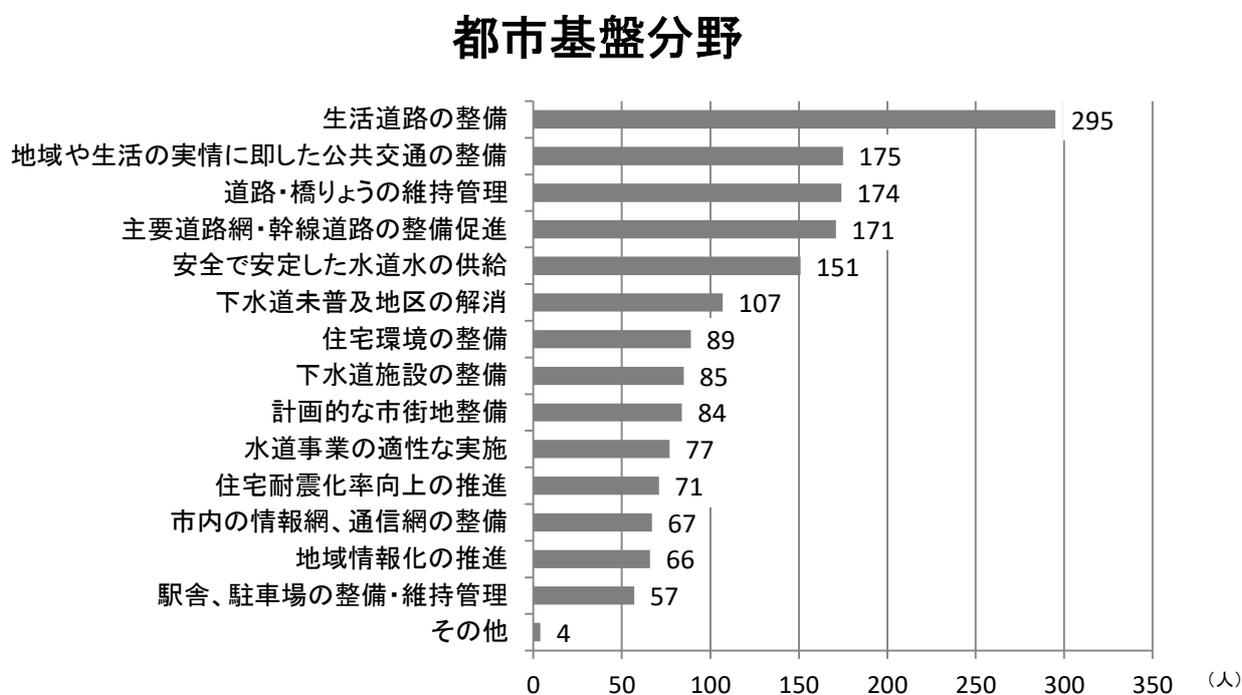
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生活道路の整備」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」「道路・橋りょうの維持管理」の順となっている。

一方、下位は、「駅舎、駐車場の整備・維持管理」「地域情報化の推進」「市内の情報網、通信網の整備」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」が最も多くなっており、「道路・橋りょうの維持管理」も上位に入っている。10代で「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、30代以下で「住宅環境の整備」が上位に入っている。また、40代と80代で「下水道未普及地区の解消」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和・仙北地域以外で「生活道路の整備」が最も多くなっており、協和・仙北地域でも2番目に多くなっている。また、西仙北・太田地域で「下水道未普及地区の解消」、南外地域では「住宅環境の整備」が上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

## ■10代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	6
2	道路・橋りょうの維持管理	4
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	4
4	駅舎、駐車場の整備・維持管理	3
	住宅環境の整備	3
	安全で安定した水道水の供給	3

## ■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
	道路・橋りょうの維持管理	17
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12
5	計画的な市街地整備	9
	住宅環境の整備	9
	安全で安定した水道水の供給	9

## ■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	28
3	道路・橋りょうの維持管理	23
4	安全で安定した水道水の供給	19
5	住宅環境の整備	16

## ■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	48
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	28
3	道路・橋りょうの維持管理	26
4	安全で安定した水道水の供給	24
5	下水道未普及地区の解消	23

## ■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	48
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
3	道路・橋りょうの維持管理	28
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	24
5	安全で安定した水道水の供給	23

## ■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	64
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	40
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	35
	道路・橋りょうの維持管理	35
	安全で安定した水道水の供給	35

## ■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	57
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	41
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	33
4	道路・橋りょうの維持管理	29
5	安全で安定した水道水の供給	28

## ■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	12
	下水道未普及地区の解消	12
4	道路・橋りょうの維持管理	10
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	10

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	121
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	72
3	道路・橋りょうの維持管理	62
4	安全で安定した水道水の供給	59
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	56

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	14
3	道路・橋りょうの維持管理	11
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	8
	安全で安定した水道水の供給	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	33
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
3	道路・橋りょうの維持管理	15
4	安全で安定した水道水の供給	13
	下水道未普及地区の解消	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	47
2	道路・橋りょうの維持管理	29
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	23
5	安全で安定した水道水の供給	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	安全で安定した水道水の供給	21
2	生活道路の整備	20
3	道路・橋りょうの維持管理	16
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	15
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	7
	道路・橋りょうの維持管理	7
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	6
4	住宅環境の整備	4
	安全で安定した水道水の供給	4

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	24
2	生活道路の整備	21
3	道路・橋りょうの維持管理	18
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	14
	安全で安定した水道水の供給	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	27
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	20
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	18
4	道路・橋りょうの維持管理	14
	下水道未普及地区の解消	14

### 2. 5. 6 教育・交流分野に関する設問について

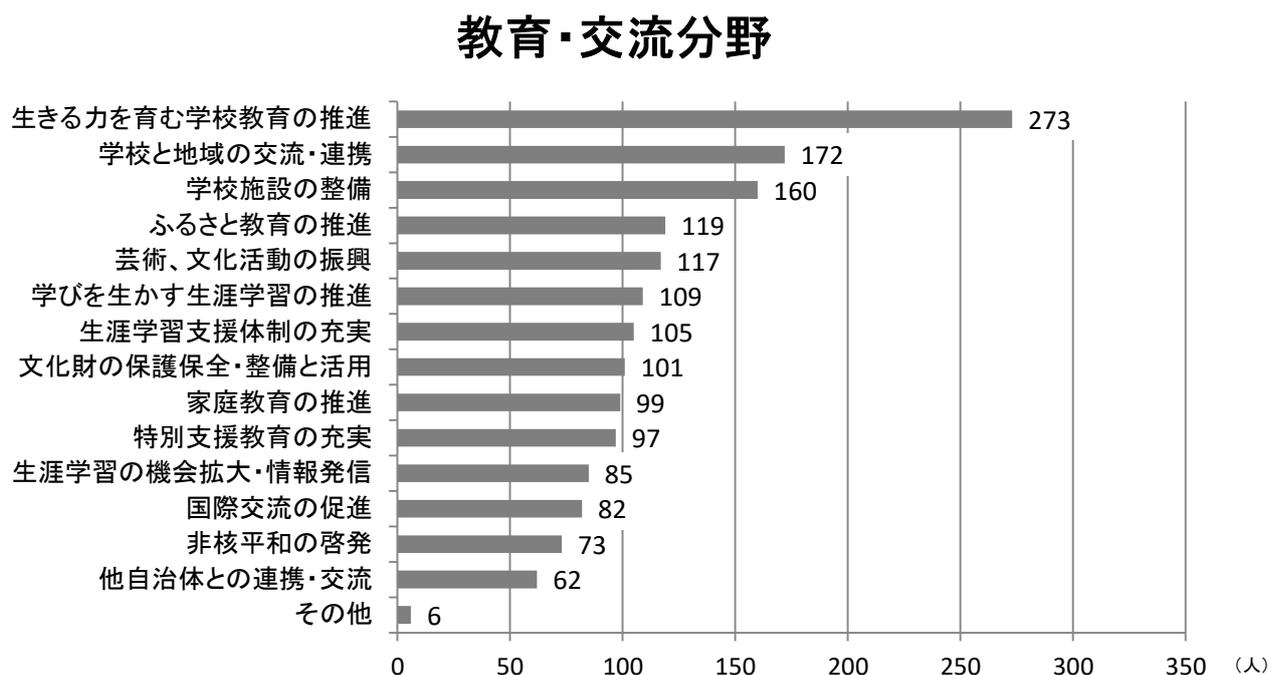
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」「学校と地域の交流・連携」「学校施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」「非核平和の啓発」「国際交流の促進」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっており、10代でも2番目に多くなっている。10代では「学校と地域の交流・連携」「国際交流の促進」が最も多くなっており、「学校と地域の交流・連携」は60代以上で2番目に多くなっている。また、20代から50代では「学校施設の整備」が2番目に多くなっている。ほかにも10代、40代、50代、80代で「文化財の保護保全・整備と活用」、30代、50代、70代で「学びを生かす生涯学習の推進」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。また、大曲・西仙北・中仙・南外・太田地域で「学びを生かす生涯学習の推進」、西仙北・中仙・仙北地域で「文化財の保護保全・整備と活用」、西仙北・協和・南外地域で「特別支援教育の充実」が上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	5
	国際交流の促進	5
3	生きる力を育む学校教育の推進	4
	芸術、文化活動の振興	4
5	学校施設の整備	3
	ふるさと教育の推進	3
	文化財の保護保全・整備と活用	3
	他自治体との連携・交流	3

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	20
2	学校施設の整備	15
3	学校と地域の交流・連携	13
4	ふるさと教育の推進	9
	芸術、文化活動の振興	9

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	32
2	学校施設の整備	28
3	学校と地域の交流・連携	16
	学びを生かす生涯学習の推進	16
5	家庭教育の推進	15

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	41
2	学校施設の整備	36
3	学校と地域の交流・連携	33
4	特別支援教育の充実	23
5	ふるさと教育の推進	20
	芸術、文化活動の振興	20
	文化財の保護保全・整備と活用	20

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	42
2	学校施設の整備	22
3	芸術、文化活動の振興	21
4	学びを生かす生涯学習の推進	19
	文化財の保護保全・整備と活用	19

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	60
2	学校と地域の交流・連携	41
3	生涯学習支援体制の充実	28
4	学校施設の整備	26
5	ふるさと教育の推進	24

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	54
2	学校と地域の交流・連携	33
3	生涯学習支援体制の充実	26
4	学びを生かす生涯学習の推進	25
5	学校施設の整備	24

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	19
2	学校と地域の交流・連携	12
	ふるさと教育の推進	12
4	家庭教育の推進	8
5	文化財の保護保全・整備と活用	7

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

## ■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	105
2	学校と地域の交流・連携	65
3	学校施設の整備	62
4	芸術、文化活動の振興	54
5	学びを生かす生涯学習の推進	50

## ■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	23
2	学校と地域の交流・連携	17
3	学校施設の整備	14
4	芸術、文化活動の振興	10
5	家庭教育の推進	9

## ■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	24
2	学校と地域の交流・連携	22
3	学校施設の整備	16
4	生涯学習支援体制の充実	14
	特別支援教育の充実	13
5	学びを生かす生涯学習の推進	13
	文化財の保護保全・整備と活用	13

## ■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	38
2	学校施設の整備	27
3	学校と地域の交流・連携	22
4	ふるさと教育の推進	21
	家庭教育の推進	15
5	学びを生かす生涯学習の推進	15
	文化財の保護保全・整備と活用	15

## ■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	23
2	学校と地域の交流・連携	15
3	ふるさと教育の推進	11
4	学校施設の整備	9
5	特別支援教育の充実	7
	国際交流の促進	7

## ■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	12
2	特別支援教育の充実	4
	学校施設の整備	3
3	ふるさと教育の推進	3
	学びを生かす生涯学習の推進	3
	芸術、文化活動の振興	3

## ■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	16
3	学校施設の整備	15
4	ふるさと教育の推進	13
5	芸術、文化活動の振興	11
	文化財の保護保全・整備と活用	11

## ■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	25
2	学校施設の整備	14
3	学校と地域の交流・連携	12
	学びを生かす生涯学習の推進	12
5	芸術、文化活動の振興	11

## 2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

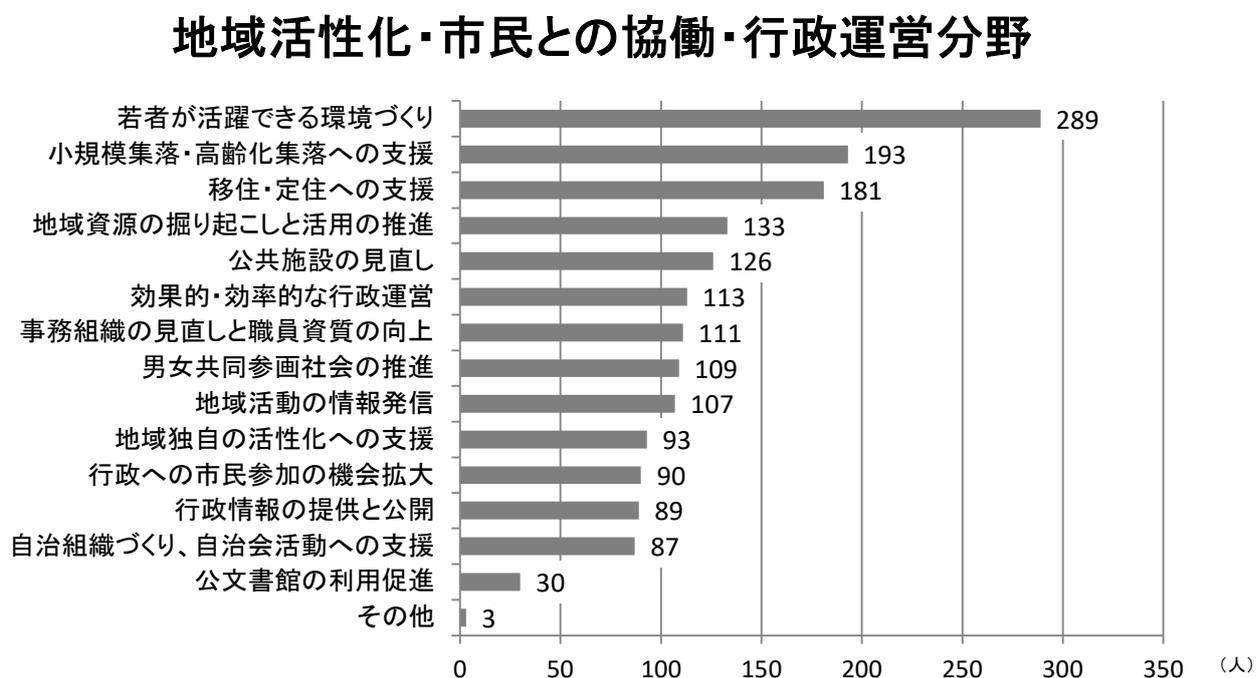
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住への支援」の順となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」「自治組織づくり、自治会活動への支援」「行政情報の提供と公開」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、10代でも2番目に多くなっている。また、20代以下、40代、50代で「効果的・効率的な行政運営」、60代、80代で「事務組織の見直しと職員資質の向上」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和地域以外では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっているが、協和地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も多くなっている。また、神岡・南外・太田地域で、全体の上位5項目に入っていない「事務組織の見直しと職員資質の向上」が上位に入っている。

図表 40 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

## ■10代

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	6
2	若者が活躍できる環境づくり	5
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	3
	地域活動の情報発信	3
	行政への市民参加の機会拡大	3
	男女共同参画社会の推進	3
	効果的・効率的な行政運営	3
	公共施設の見直し	3

## ■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
2	移住・定住への支援	14
3	男女共同参画社会の推進	12
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	11
5	地域独自の活性化への支援	9
	効果的・効率的な行政運営	9

## ■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	38
2	移住・定住への支援	30
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	19
4	小規模集落・高齢化集落への支援	18
5	地域活動の情報発信	14

## ■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	38
2	小規模集落・高齢化集落への支援	31
3	移住・定住への支援	28
4	効果的・効率的な行政運営	25
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	24
	公共施設の見直し	24

## ■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	50
2	移住・定住への支援	33
3	小規模集落・高齢化集落への支援	30
4	効果的・効率的な行政運営	21
5	公共施設の見直し	18

## ■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	66
2	小規模集落・高齢化集落への支援	40
3	移住・定住への支援	38
4	公共施設の見直し	30
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	28

## ■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	50
2	小規模集落・高齢化集落への支援	46
3	移住・定住への支援	28
4	公共施設の見直し	26
5	行政への市民参加の機会拡大	24
	自治組織づくり、自治会活動への支援	24

## ■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	17
2	小規模集落・高齢化集落への支援	13
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	10
4	地域独自の活性化への支援	9
5	自治組織づくり、自治会活動への支援	8
	移住・定住への支援	8
	事務組織の見直しと職員資質の向上	8
	公共施設の見直し	8

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	120
2	移住・定住への支援	76
3	小規模集落・高齢化集落への支援	71
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	55
5	男女共同参画社会の推進	50

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	24
2	小規模集落・高齢化集落への支援	13
3	地域活動の情報発信	12
	移住・定住への支援	12
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	10
	行政への市民参加の機会拡大	10
	事務組織の見直しと職員資質の向上	10
	公共施設の見直し	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	24
3	移住・定住への支援	20
4	公共施設の見直し	18
5	男女共同参画社会の推進	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	42
2	移住・定住への支援	27
3	小規模集落・高齢化集落への支援	26
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	17
	公共施設の見直し	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	23
2	若者が活躍できる環境づくり	18
3	地域独自の活性化への支援	12
	移住・定住への支援	12
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	8
	自治組織づくり、自治会活動への支援	5
2	小規模集落・高齢化集落への支援	5
	移住・定住への支援	5
	地域資源の掘り起こしと活用の推進	4
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	4
	効果的・効率的な行政運営	4

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
2	移住・定住への支援	16
3	効果的・効率的な行政運営	15
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	13
	公共施設の見直し	13

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	22
2	小規模集落・高齢化集落への支援	19
3	移住・定住への支援	13
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	12
5	自治組織づくり、自治会活動への支援	11
	行政情報の提供と公開	11

### 2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「除排雪体制の充実」「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「生活道路の整備」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「除排雪体制の充実」「子育てに関わる経済的負担の軽減」「生活道路の整備」が上位に挙げられている。また、20代から60代で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、20代以下、50代、60代で「子育て支援サービスの充実」が上位に入るなど、幅広い年代で子育てに関する項目が挙げられており、特に60代以下で上位に入っている。

10代で「若者の起業支援」、20代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっているほか、40代以外で「若者が活躍できる環境づくり」、70代以上で「若者の起業支援」が上位に入るなど、若者への支援に関する項目も上位となっている。

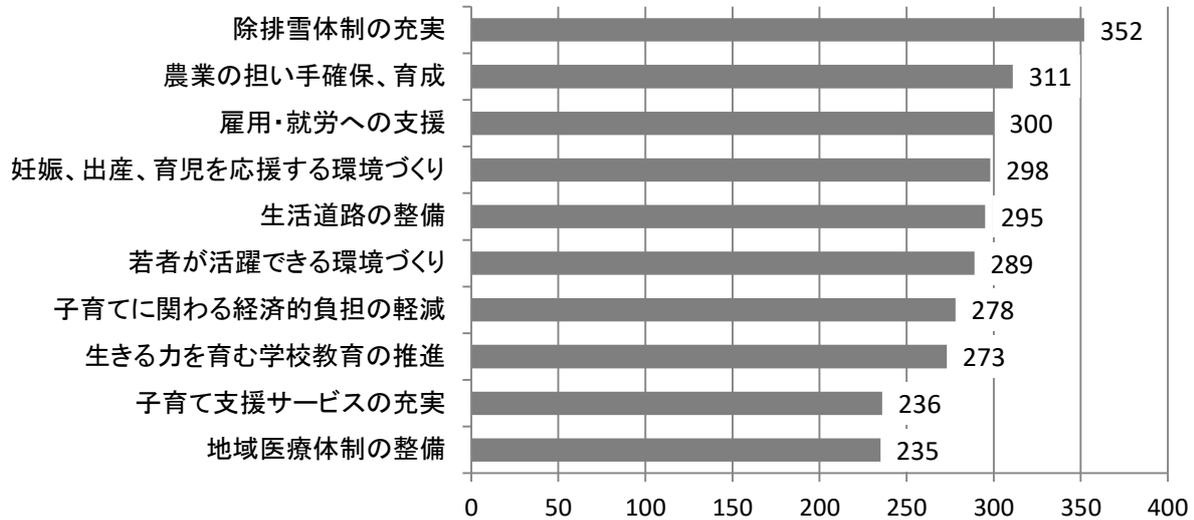
20代から50代と80代では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、60代と70代でも2番目に多くなっている。

60代と70代では「農業の担い手確保、育成」が最も多く挙げられているほか、20代以上で「生きる力を育む学校教育の推進」、30代以上で「雇用・就労への支援」が上位に入っている。

地域別で見ると、大曲・神岡・西仙北・協和地域で「除排雪体制の充実」が最も多く挙げられており、その他の地域でも上位となっている。西仙北・仙北地域では「農業の担い手確保、育成」が最も多く挙げられており、大曲・協和地域では2、3番目に多くなっている。中仙地域では「生活道路の整備」が最も多く挙げられており、西仙北・太田地域で2、3番目に多くなっている。南外地域では「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多く、協和・太田地域では3番目に多くなっている。太田地域では「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」が最も多く、南外・協和地域では2、3番目に多くなっている。また、年代別同様、妊娠や出産、子育てに関する項目がどの地域でも上位に入っているほか、協和地域と太田地域以外では、若者の活躍や起業に関する項目も上位に入っている。

図表 43 さらに推進すべき取り組み（回答数順）

## すべての分野



図表 44 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

### ■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	7
2	空き家の管理と利活用の推進	6
	生活道路の整備	6
5	小規模集落・高齢化集落への支援	6
	農業の担い手確保、育成	5
	魅力ある観光地づくり	5
	こころの健康づくりの推進	5
	社会保障制度の周知	5
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	5
	子育て支援サービスの充実	5
	子育てに関わる経済的負担の軽減	5
	除排雪体制の充実	5
	河川とその周辺環境の保全・整備	5
	学校と地域の交流・連携	5
	国際交流の促進	5
	若者が活躍できる環境づくり	5

### ■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
	若者が活躍できる環境づくり	25
3	農業の担い手確保、育成	24
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
5	からだの健康づくりの推進	21
	生活道路の整備	21
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	20
	こころの健康づくりの推進	20
	生きる力を育む学校教育の推進	20
10	子育て支援サービスの充実	17
	主要道路網・幹線道路の整備促進 道路・橋りょうの維持管理	17

## ■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	44
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	39
3	若者が活躍できる環境づくり	38
4	雇用・就労への支援	36
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
	消融雪施設の整備	33
7	生活道路の整備	32
	生きる力を育む学校教育の推進	32
	中小企業への支援	30
9	こころの健康づくりの推進	30
	移住・定住への支援	30

## ■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	58
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	57
3	雇用・就労への支援	56
4	若者が活躍できる環境づくり	50
5	生活道路の整備	48
6	企業誘致の強化	47
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
8	農業の担い手確保、育成	42
	生きる力を育む学校教育の推進	42
10	子育て支援サービスの充実	39
	介護サービス基盤等の整備	39

## ■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	除排雪体制の充実	65
3	雇用・就労への支援	58
4	生活道路の整備	57
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	54
	生きる力を育む学校教育の推進	54
7	結婚を応援する環境づくり	53
8	若者の起業支援	50
	介護サービス基盤等の整備	50
	若者が活躍できる環境づくり	50

## ■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	62
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	51
3	雇用・就労への支援	50
4	農業の担い手確保、育成	48
	生活道路の整備	48
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
7	空き家の管理と利活用の推進	42
8	生きる力を育む学校教育の推進	41
9	消融雪施設の整備	40
10	中小企業への支援	39

## ■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	72
2	除排雪体制の充実	71
3	若者が活躍できる環境づくり	66
	雇用・就労への支援	64
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	64
	生活道路の整備	64
7	子育て支援サービスの充実	60
	生きる力を育む学校教育の推進	60
9	地域医療体制の整備	55
10	子育てに関わる経済的負担の軽減	53

## ■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
	生きる力を育む学校教育の推進	19
3	生活道路の整備	18
4	若者が活躍できる環境づくり	17
5	農業の担い手確保、育成	16
	雇用・就労への支援	15
6	結婚を応援する環境づくり	15
	子育てに関わる経済的負担の軽減	15
9	若者の起業支援	14
	からだの健康づくりの推進	14
	地域医療体制の整備	14
	介護サービス基盤等の整備	14

図表 45 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	155
2	雇用・就労への支援	130
3	農業の担い手確保、育成	125
4	生活道路の整備	121
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	120
	若者が活躍できる環境づくり	120
7	消融雪施設の整備	108
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	107
9	生きる力を育む学校教育の推進	105
10	若者の起業支援	95
	こころの健康づくりの推進	95

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	企業誘致の強化	24
	雇用・就労への支援	24
	若者が活躍できる環境づくり	24
5	生きる力を育む学校教育の推進	23
6	農業の担い手確保、育成	22
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	21
	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
9	子育て支援サービスの充実	19
	地域医療体制の整備	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	35
	除排雪体制の充実	35
3	生活道路の整備	33
4	雇用・就労への支援	31
5	地域医療体制の整備	30
	若者が活躍できる環境づくり	30
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
	介護サービス基盤等の整備	26
10	若者の起業支援	24
	結婚を応援する環境づくり	24
	子育て支援サービスの充実	24
	生きる力を育む学校教育の推進	24
	小規模集落・高齢化集落への支援	24
		24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	47
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
3	除排雪体制の充実	42
	若者が活躍できる環境づくり	42
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
6	農業の担い手確保、育成	39
	雇用・就労への支援	39
8	結婚を応援する環境づくり	38
	生きる力を育む学校教育の推進	38
10	地域医療体制の整備	37

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	28
2	農業の担い手確保、育成	25
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
3	生きる力を育む学校教育の推進	23
	小規模集落・高齢化集落への支援	23
6	雇用・就労への支援	21
	安全で安定した水道水の供給	21
8	地域医療体制の整備	20
	生活道路の整備	20
10	介護サービス基盤等の整備	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	12
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
4	子育て支援サービスの充実	10
5	除排雪体制の充実	9
6	農業の担い手確保、育成	8
	農業生産基盤の整備	8
	若者が活躍できる環境づくり	8
9	稲作・畑作等複合経営の推進	7
	地域商業の活性化	7
	からだの健康づくりの推進	7
	生活道路の整備	7
	道路・橋りょうの維持管理	7

## ■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	除排雪体制の充実	29
3	若者が活躍できる環境づくり	25
4	雇用・就労への支援	24
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
7	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	24
	企業誘致の強化	23
9	結婚を応援する環境づくり	23
	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
	生きる力を育む学校教育の推進	22

## ■太田地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	29
2	生活道路の整備	27
3	除排雪体制の充実	25
	空き家の管理と利活用の推進	25
6	生きる力を育む学校教育の推進	25
	雇用・就労への支援	24
9	子育て支援サービスの充実	24
	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
9	農業の担い手確保、育成	23
	介護サービス基盤等の整備	23

## 2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

- ◆ 調査目的： 市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めており、その一環として、窓口での手数料支払いのキャッシュレス化やオンライン申請による各種証明書の送付サービスを導入する予定としている。

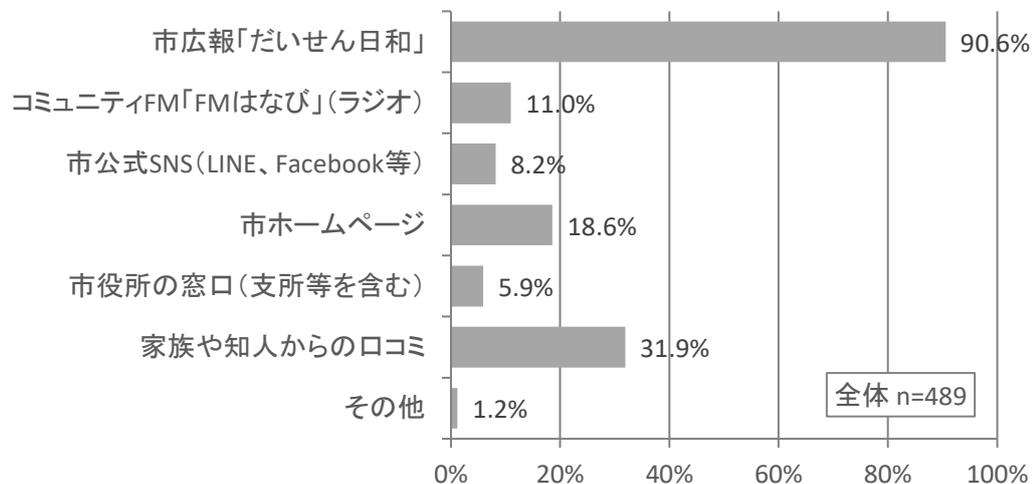
本調査では、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に関する意見を伺い、今後も様々なサービスのデジタル化を推進するにあたっての参考とする。

### 2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について

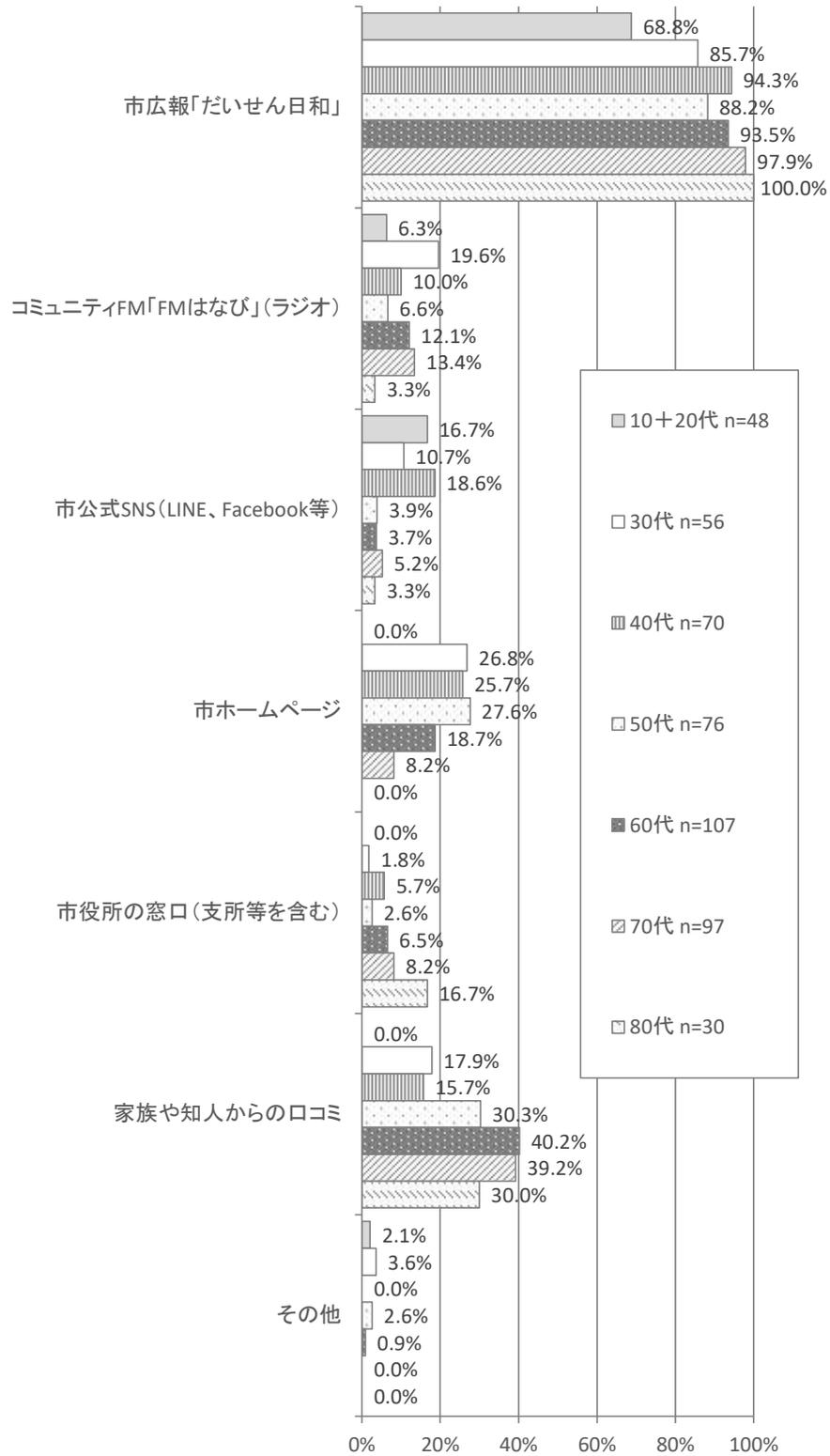
【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するために主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

- 全体では、「市広報『だいせん日和』」（以下、「広報紙」）の割合が90.6%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」（以下、「口コミ」）が31.9%、「市ホームページ」が18.6%となっている。
- 年代別で見ると全ての年代で「広報紙」が最も高く、30代以上で8割を超えており、非常に高くなっている。40代以下では「市公式SNS（LINE、Facebook等）」、30代から60代では「市ホームページ」がやや高くなっている。50代以上では「口コミ」が3割を超えており、40代以下と差が生じている。また、80代では「市役所の窓口（支所等を含む）」が16.7%で、他の年代よりも高くなっている。

図表 46 「市政情報入手手段」（全体）



図表 47 年代別による「市政情報入手手段」

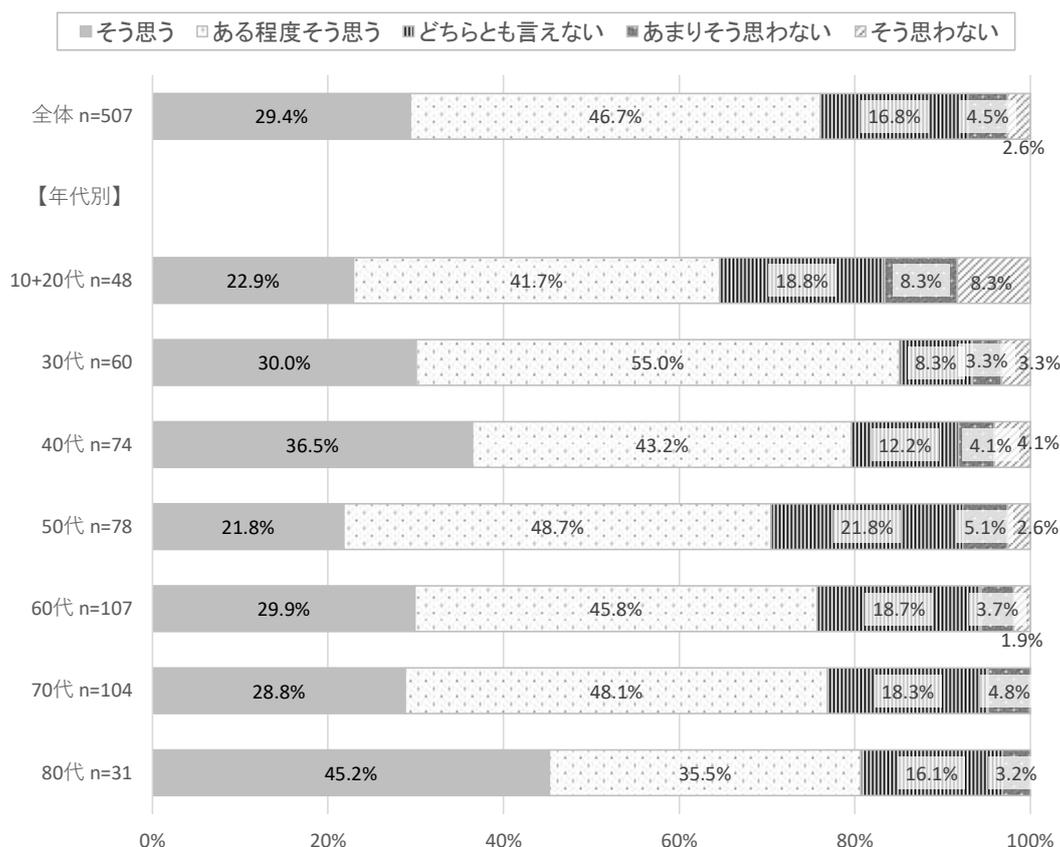


**【問2】あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。**

(情報の入手しやすさ)

- 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が 29.4%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が 46.7%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、76.1%と8割近くになっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高いのは30代で85.0%、最も低いのは10代と20代を合わせた年代で64.6%となっており、20.4ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり情報入手しやすいとは思わない）」「そう思わない（情報入手しやすいとは思わない）」を合わせた割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で16.6%、最も低いのは80代で3.2%となっており、その差は13.4ポイントとなっている。

図表 48 「市政情報入手手段」の利用しやすさ

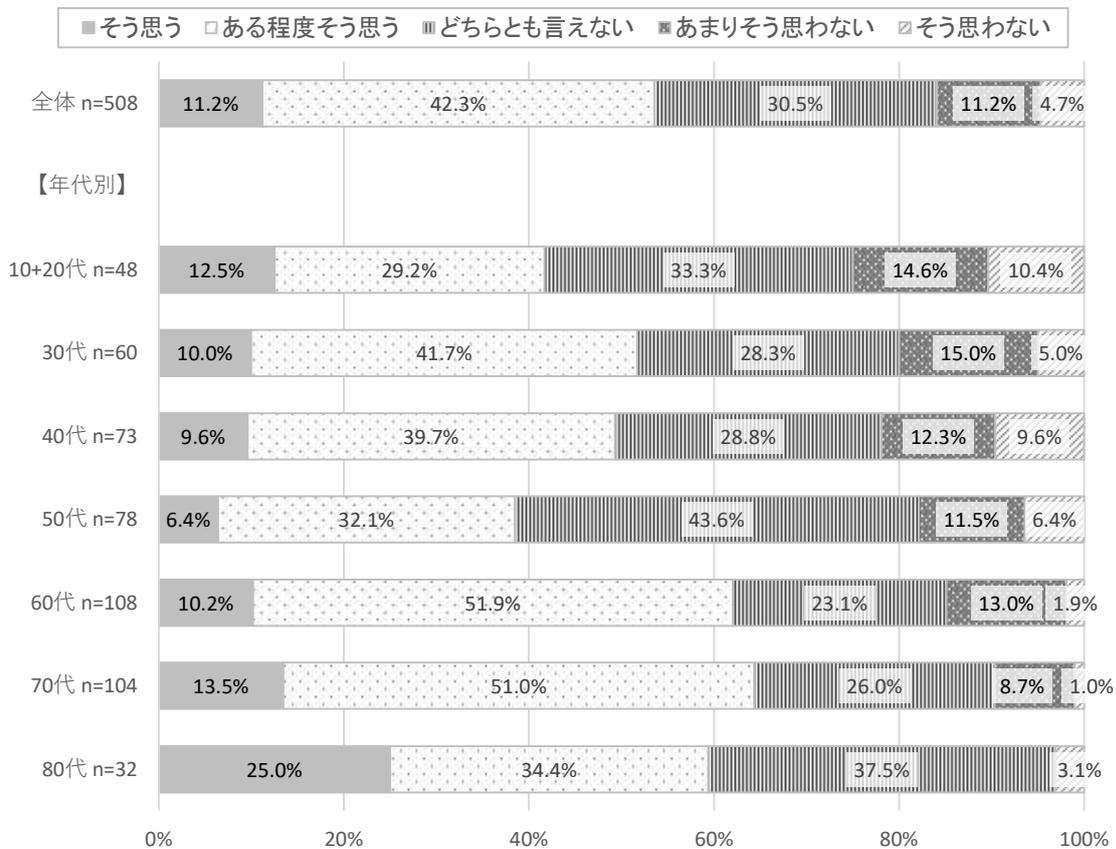


## 2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について

## 【問3】あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。

- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が 11.2%、「ある程度そう思う（どちらかといえば利用しやすい）」が 42.3%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は 53.5%と約5割となっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は 50代以下と 60代以上で異なる傾向が見られる。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は 70代が 64.5%で最も高くなっている。一方、「あまりそう思わない（どちらかといえば利用しにくい）」「そう思わない（利用しにくい）」を合わせた割合は 10代と 20代を合わせた年代が 25.0%で最も高くなっており、程度を問わず利用しにくいと回答した方の割合は年代が下がるにつれて高くなる傾向にある。

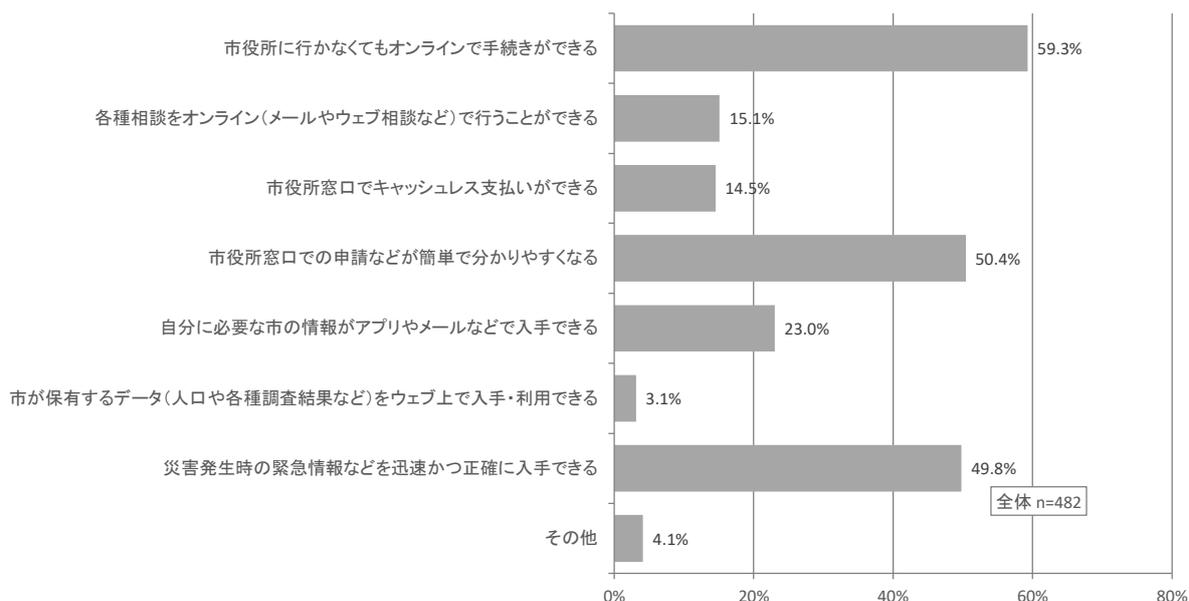
図表 50 「市のサービスの利用しやすさ」



**【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）**

- 全体では、「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（以下、「オンライン手続き」）が 59.3%で最も高く、次いで「（デジタル化によって）市役所窓口での申請などが簡単でわかりやすくなる」（以下、「申請が簡単になる」）が 50.4%、続いて「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下、「緊急情報」）が 49.8%となっている。
- 年代別にみると、「オンライン手続き」については、10代から50代で7割を超えているのに対し、60代以上では5割を下回っており、年代が上がるにつれて低くなっている。一方で、「申請が簡単になる」については、60代以上で5割を超えているが、50代以下では5割を下回っている。「各種相談をオンライン（メールやウェブ相談など）で行うことができる」については、10代と20代を合わせた年代が28.9%で最も高く、次いで30代が22.0%、80代以上が19.2%となっている。「緊急情報」については60代が61.0%で、最も高くなっている。40代以下では「市役所窓口でキャッシュレス支払いができる」、50代以下では「自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる」がやや高くなっている。また、年代が上がるにつれて「その他」が高くなっており、主にデジタルディバイドに関する不安が挙げられている。

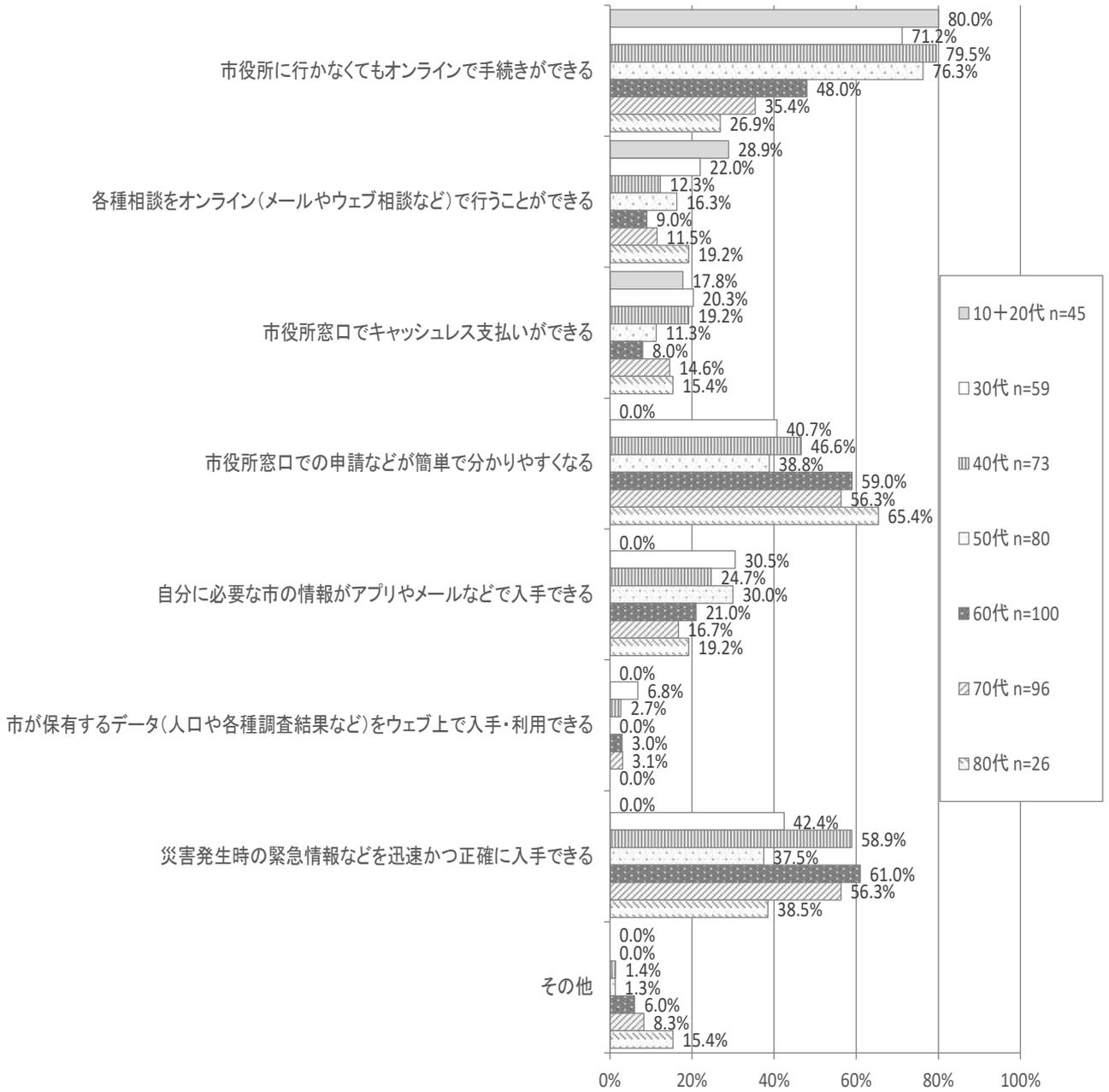
**図表 51 「行政サービスのデジタル化に期待すること」**



## ■その他の回答

- ・ 余りにも機械化が進みついていけない。(女性/80代)
- ・ 余りデジタル化ばかりでは追いつけない。(女性/80代)
- ・ 高齢夫婦のためデジタル化は反対。(男性/70代)
- ・ 老人なのでスマホもない。デジタルわかりません。(女性/70代)
- ・ デジタル化に対応できる生活をしていません。(女性/70代)
- ・ 便利だけど年配者にはわからない。(女性/70代)
- ・ デジタルは苦手だ。(女性/60代)
- ・ あんまり利用していないので。(男性/60代)
- ・ 高齢者のため作動ができません。(男性/70代)
- ・ デジタル化をなかなか利用できない人もいることを考えてほしい。(女性/60代)
- ・ デジタルについていけません。オンラインもメール、ウェブもできません。(男性/60代)
- ・ 土・日交代での出勤。(女性/50代)
- ・ 分からない。(性別無回答/80代)
- ・ 高齢者にも配慮したサービスを望む。(女性/40代)
- ・ マイナンバーカードコンビニ使えない(印鑑証明)。(男性/60代)
- ・ 私はまだウェブなどうとくて。(女性/70代)
- ・ 自分にはできないのでたいへん。(女性/70代)
- ・ 年寄なので分からない。(女性/80代)
- ・ 老人にデジタル化は無理。(性別無回答/60代)

図表 52 年代別による「行政サービスのデジタル化に期待すること」



## 2.7 あなたが思う大仙市について

### 2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について

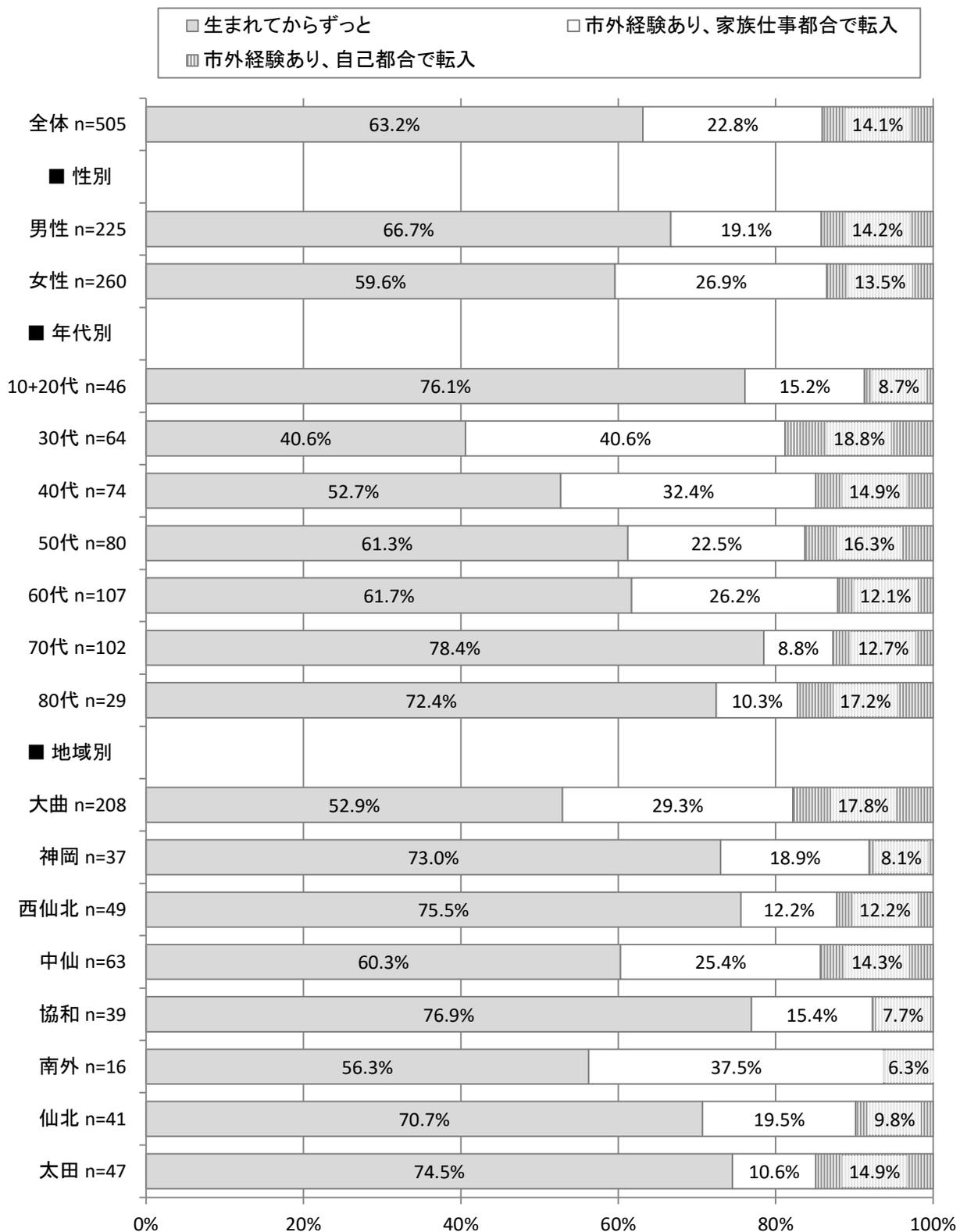
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」が 63.2%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が 22.8%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が 14.1%となっている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、「生まれてからずっと」は男性が 66.7%となっており、女性の 59.6%より 7.1 ポイント高くなっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」は男性が 19.1%となっており、女性は 7.8 ポイント高い 26.9%となっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは 70 代で 78.4%となっており、次いで、10 代と 20 代を合わせた年代が 76.1%で 2 番目に高くなっている。一方、最も低いのは 30 代で 40.6%となっており、30 代を境に年代が上がるにつれて高くなっている。ただし、80 代では、70 代より低下しており、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が若干高くなっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」「市外経験あり、自己都合で転入」を合わせた割合が最も高いのは、30 代となっており、30 代を境に年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。

地域別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは協和地域で 76.9%となっており、最も低いのは大曲地域で 52.9%となっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」の割合が最も高いのは南外地域で 37.5%、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは大曲地域で 17.8%となっている。

図表 52 大仙市に住んでいる経緯



## 2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について

### ■住みやすいか

大仙市は住みやすいまちだと思うか、という設問については、「どちらかといえば住みやすい」が 56.0%で最も高く、次いで「住みやすい」が 31.7%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、87.7%で昨年度から 5.0 ポイント上昇している。

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異は見られないが、「住みやすい」は男性が 35.1%、女性が 28.5%となっており、男性が 6.6 ポイント高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」は男性が 53.3%、女性が 59.6%となっており、女性が 6.3 ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、70代が 91.4%で最も高く、80代が 78.2%で最も低くなっており、80代以外では8割を超えている。

地域別で見ると、「住みやすい」は大曲地域が 37.0%で最も高くなっているが、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、神岡地域が 92.1%で最も高くなっている。「住みにくい」は中仙地域が 7.8%で最も高くなっているが、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、太田地域が 20.9%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「生まれてからずっと」と回答した方が最も高くなっている。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、「市外経験あり、家事仕事都合で転入」と回答した方の割合が最も高くなっている。

### ■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」が昨年度から 5.4 ポイント上昇し、77.3%となっている。

性別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は男性が 82.2%、女性が 74.4%で男性が 7.8 ポイント高くなっており、女性は「市内の別の場所へ移りたい」と「市外に移りたい」が高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向となっており、60代以上では8割を超えている。一方で、「市外に移りたい」は、年代が下が

るにつれて高くなる傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では、28.3%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」は、40代が14.9%で最も高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は中仙地域が81.3%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域が18.8%で最も高くなっている。また、「市外に移りたい」は、協和地域が22.5%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は「生まれてからずっと」と回答した方が81.4%で最も高くなっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「今の場所に住み続けたい」が最も低く、「市外に移りたい」が最も高くなっている。

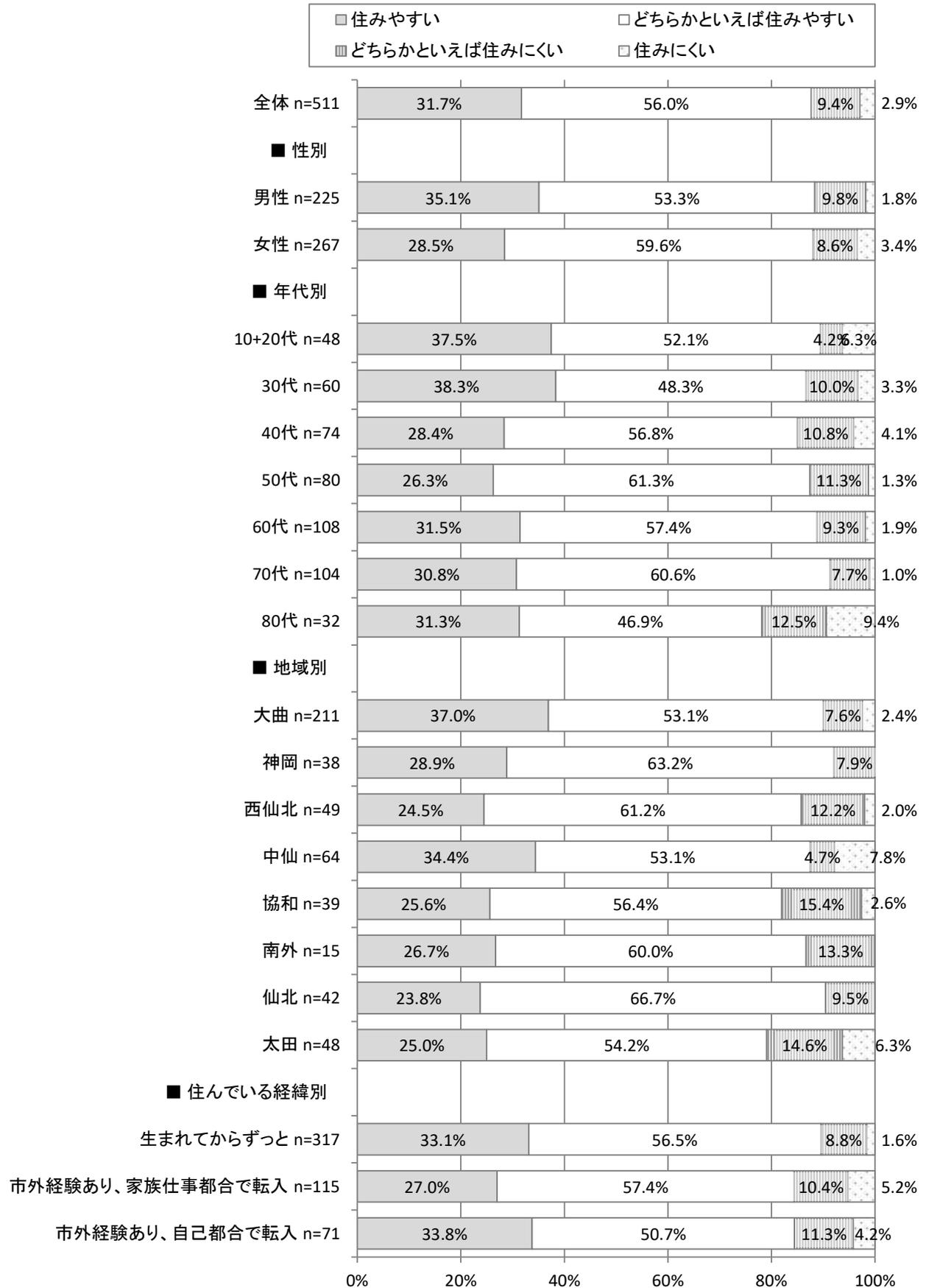
### ■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、概ね同様の傾向となっているが、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内に住み続けたいと思っている方の割合は、男性がやや高くなっている。

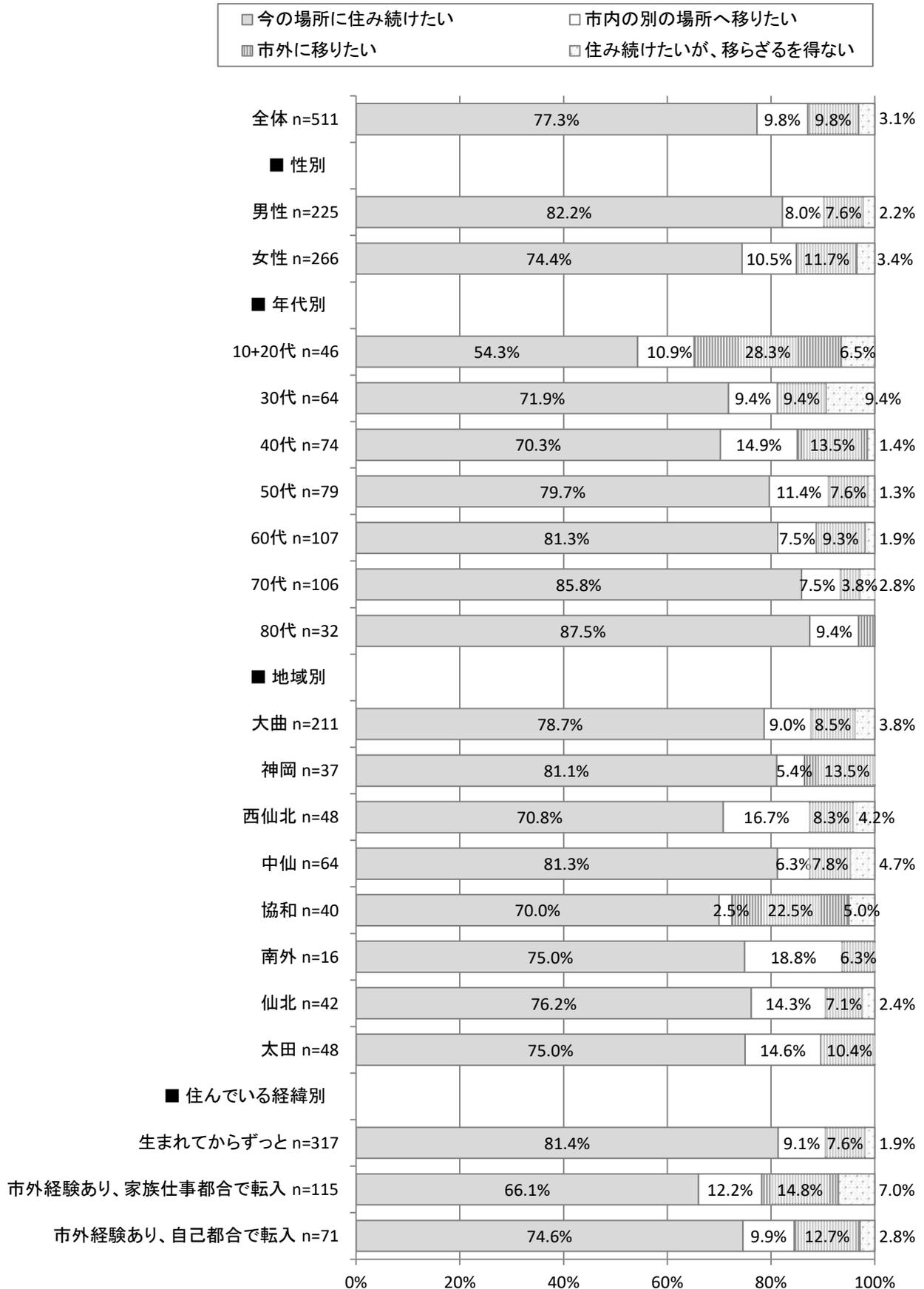
年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」は、概ね同様の傾向となっており、年代が上がるにつれて高くなる傾向となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異が見られなかったのに対し、「今の場所に住み続けたい」は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方が低くなっており、「市外に移りたい」は高くなっている。

図表 53 大仙市は住みやすいか



図表 54 大仙市に住み続けたいか



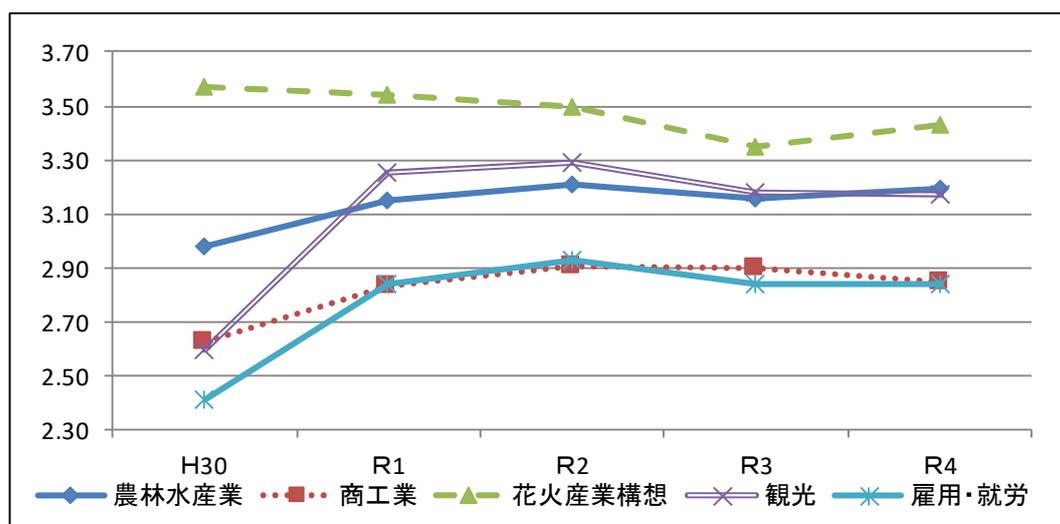
## 2.8 経年比較

平成30年度から令和4年度までの5年間における満足度、重要度、要望度の推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての7年間の推移をまとめた。

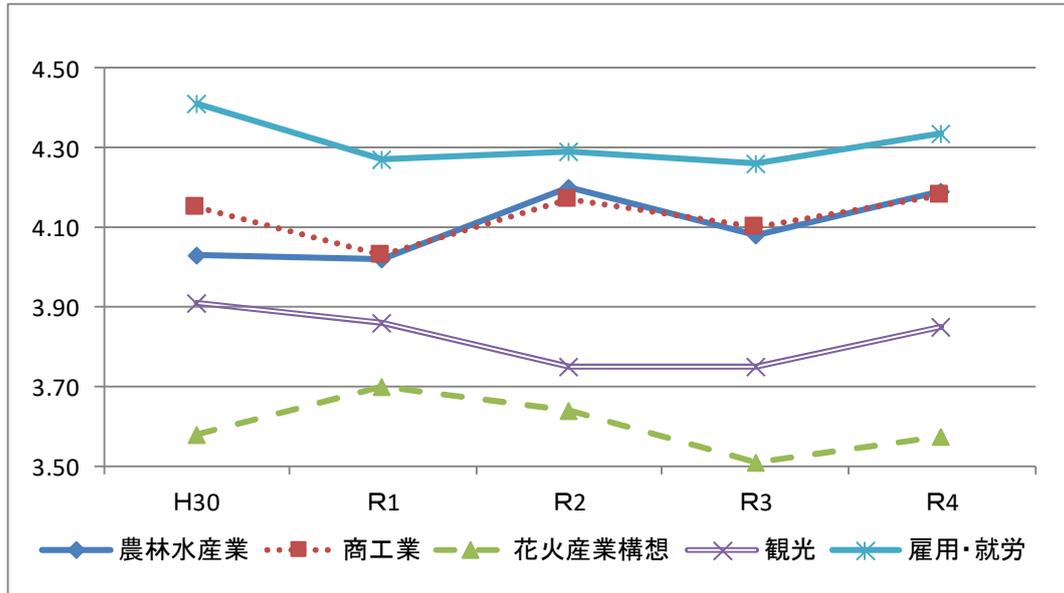
## I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度は「花火産業構想」が昨年度までは低下傾向だったが、今年度は上昇している。その他の4項目は、昨年度からほぼ横ばいとなっている。重要度は全ての項目が上昇している。要望度は、「花火産業構想」以外は平成30年度から令和元年度は低下傾向であったが、令和元年度以降は全体的に横ばいまたは上昇傾向となっている。

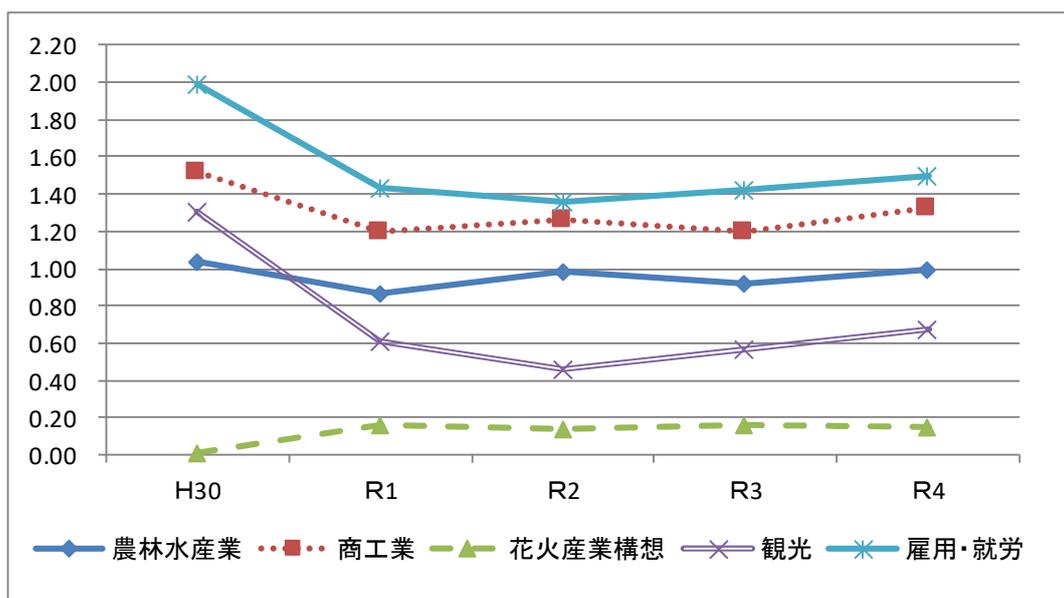
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
農林水産業	2.98	3.15	3.21	3.16	3.19
商工業	2.63	2.83	2.91	2.90	2.85
花火産業構想	3.57	3.54	3.50	3.35	3.43
観光	2.60	3.25	3.29	3.18	3.17
雇用・就労	2.41	2.84	2.93	2.84	2.84



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
農林水産業	4.03	4.02	4.20	4.08	4.19
商工業	4.15	4.03	4.17	4.10	4.18
花火産業構想	3.58	3.70	3.64	3.51	3.58
観光	3.91	3.86	3.75	3.75	3.85
雇用・就労	4.41	4.27	4.29	4.26	4.34



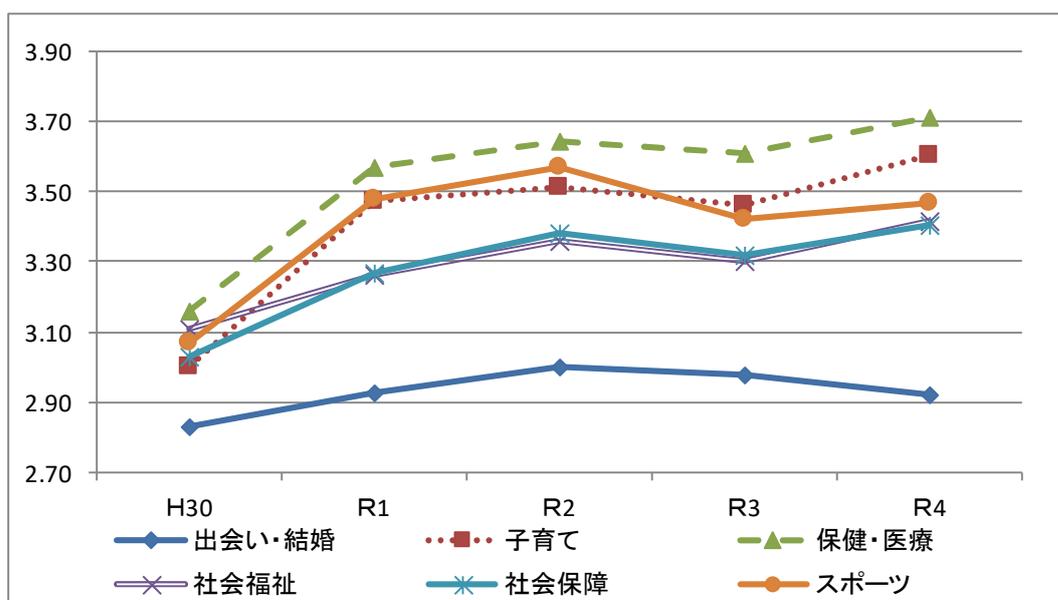
要望度	H30	R1	R2	R3	R4
農林水産業	1.04	0.87	0.99	0.92	1.00
商工業	1.52	1.20	1.26	1.20	1.33
花火産業構想	0.01	0.16	0.14	0.16	0.15
観光	1.31	0.61	0.46	0.57	0.68
雇用・就労	1.99	1.43	1.36	1.42	1.50



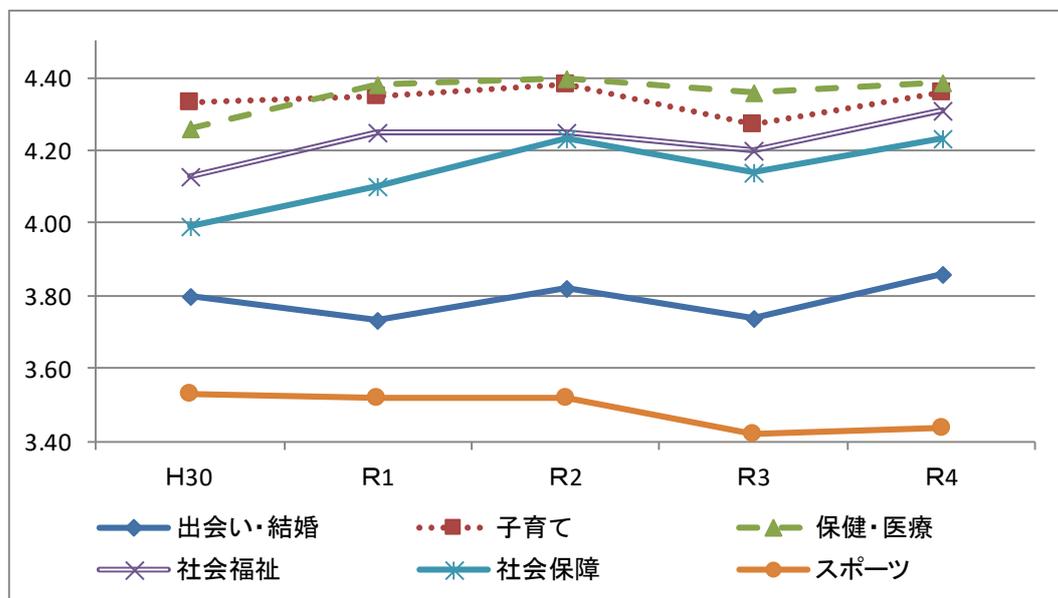
## Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は、全ての項目において令和2年度にかけて上昇し、昨年度は低下したものの、今年度は「出会い・結婚」を除いた4項目が再び上昇に転じている。重要度についても昨年度は全ての項目で低下したが、今年度は上昇に転じている。要望度は令和元年度から横ばいまたは低下傾向で推移していたが、今年度は「出会い・結婚」のみ上昇している。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値で推移している。

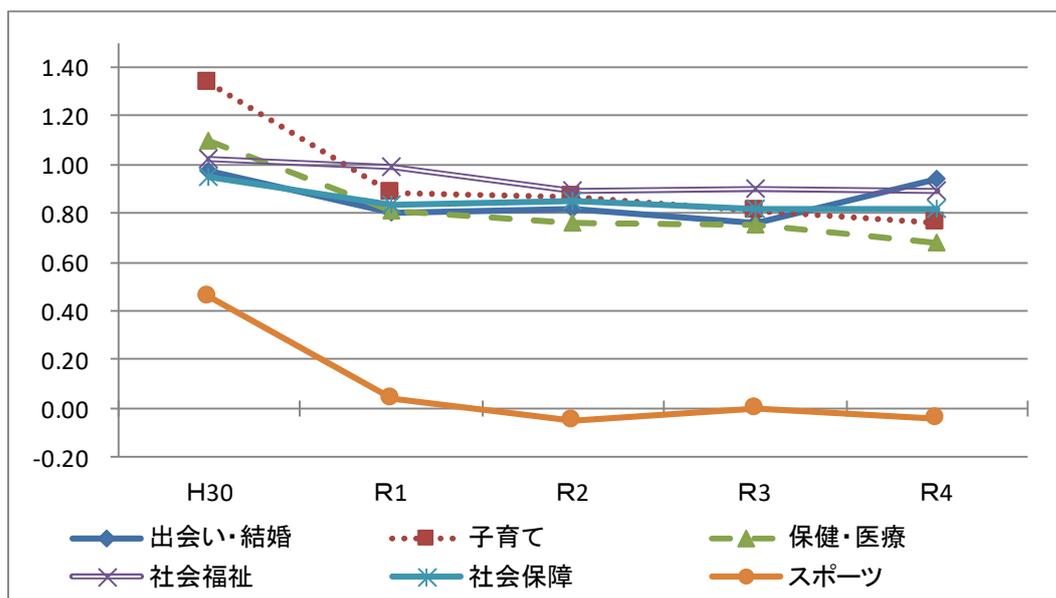
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
出会い・結婚	2.83	2.93	3.00	2.98	2.92
子育て	3.00	3.47	3.51	3.46	3.60
保健・医療	3.16	3.57	3.64	3.61	3.71
社会福祉	3.11	3.26	3.36	3.30	3.42
社会保障	3.03	3.27	3.38	3.32	3.41
スポーツ	3.07	3.48	3.57	3.42	3.47



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
出会い・結婚	3.80	3.73	3.82	3.74	3.86
子育て	4.33	4.35	4.38	4.27	4.36
保健・医療	4.26	4.38	4.40	4.36	4.39
社会福祉	4.13	4.25	4.25	4.20	4.31
社会保障	3.99	4.10	4.23	4.14	4.23
スポーツ	3.53	3.52	3.52	3.42	3.43



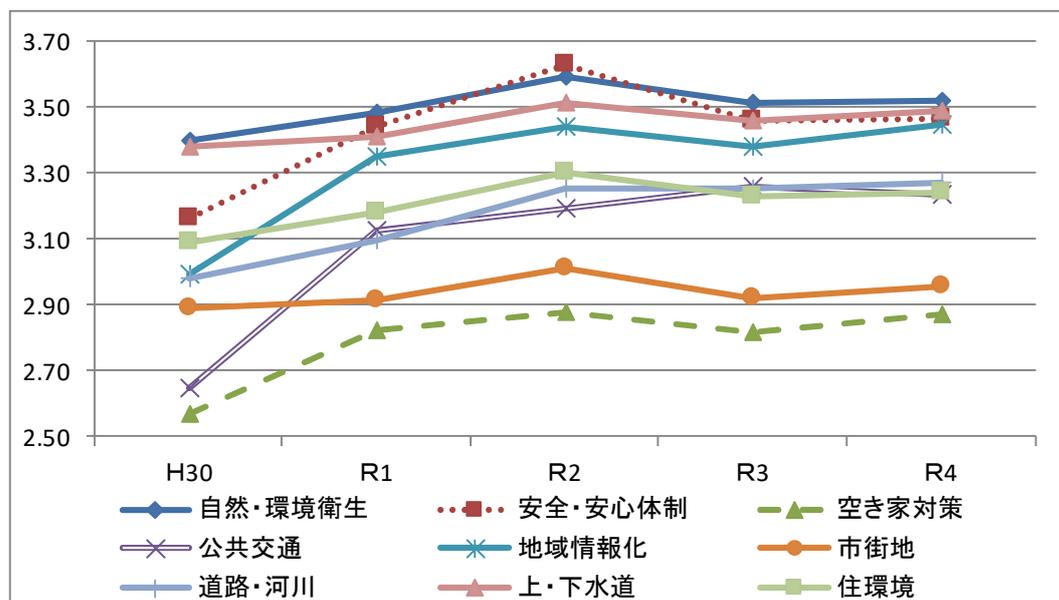
要望度	H30	R1	R2	R3	R4
出会い・結婚	0.97	0.80	0.82	0.76	0.94
子育て	1.33	0.88	0.87	0.81	0.76
保健・医療	1.10	0.81	0.76	0.75	0.68
社会福祉	1.02	0.99	0.89	0.90	0.89
社会保障	0.95	0.83	0.85	0.82	0.82
スポーツ	0.46	0.04	-0.05	0.00	-0.04



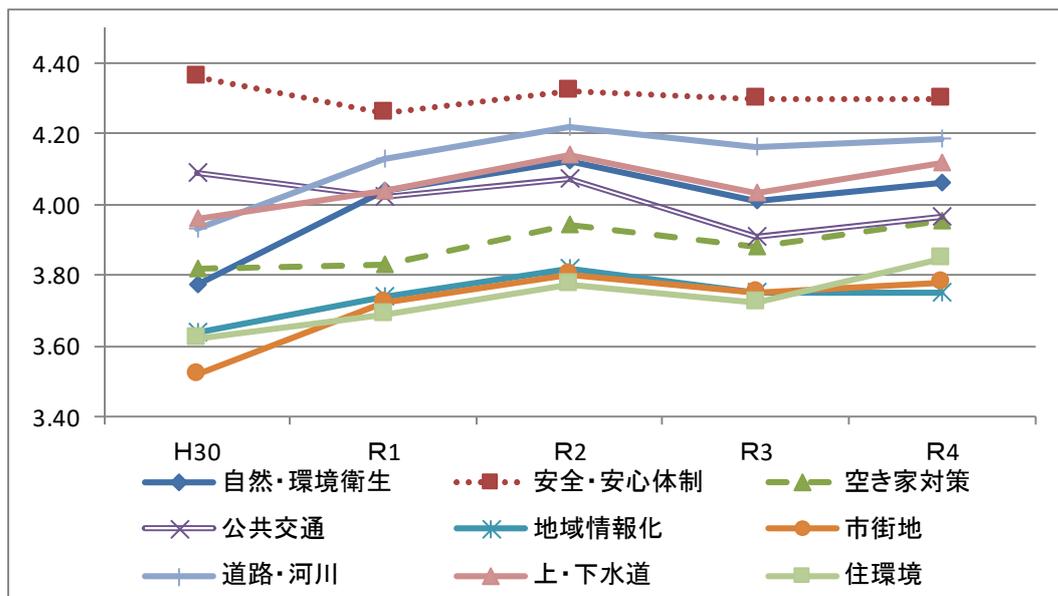
### Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は、令和2年度までは全ての項目で上昇していたが、昨年度は「公共交通」「道路・河川」以外は全て低下した。今年度は「公共交通」のみ低下し、その他の項目は横ばい、または上昇している。重要度については、昨年度は全ての項目で低下したが、今年度は横ばい、または上昇している。要望度は、令和元年度から全体的に横ばいで推移しているが、今年度は「公共交通」「上・下水道」「住環境」などで上昇している。また、「地域情報化」については、低位で推移していたが、今年度はさらに低下している。

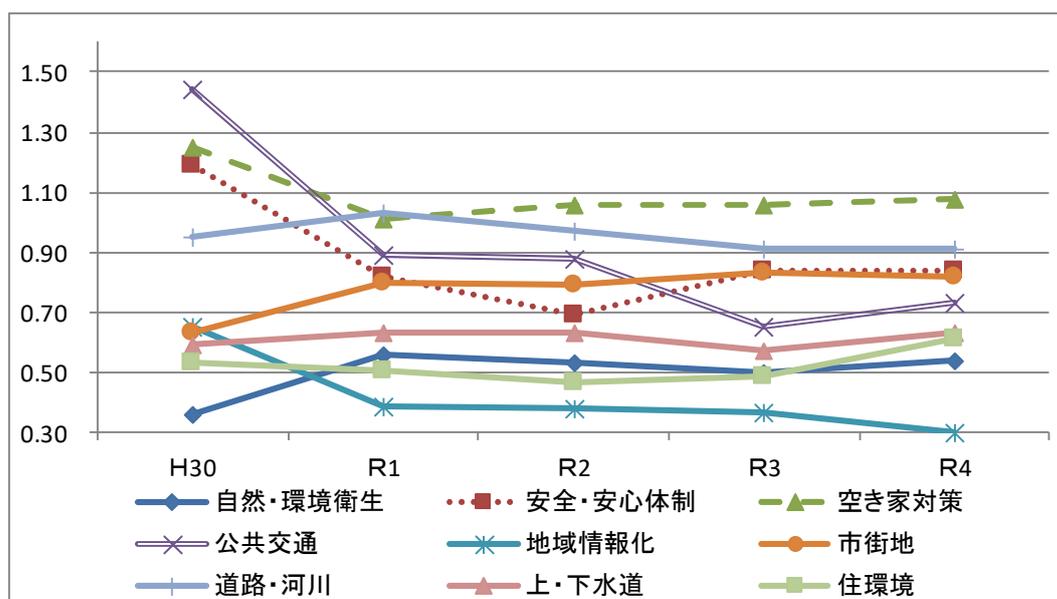
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
自然・環境衛生	3.40	3.48	3.59	3.51	3.52
安全・安心体制	3.16	3.44	3.63	3.46	3.46
空き家対策	2.57	2.82	2.88	2.82	2.87
公共交通	2.65	3.13	3.19	3.26	3.23
地域情報化	2.99	3.35	3.44	3.38	3.45
市街地	2.89	2.92	3.01	2.92	2.96
道路・河川	2.98	3.10	3.25	3.25	3.27
上・下水道	3.38	3.41	3.51	3.46	3.49
住環境	3.09	3.18	3.30	3.23	3.24



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
自然・環境衛生	3.77	4.04	4.12	4.01	4.06
安全・安心体制	4.36	4.26	4.32	4.30	4.30
空き家対策	3.82	3.83	3.94	3.88	3.95
公共交通	4.09	4.02	4.07	3.91	3.96
地域情報化	3.64	3.74	3.82	3.75	3.75
市街地	3.52	3.72	3.80	3.75	3.78
道路・河川	3.93	4.13	4.22	4.16	4.18
上・下水道	3.96	4.04	4.14	4.03	4.12
住環境	3.62	3.69	3.77	3.72	3.85



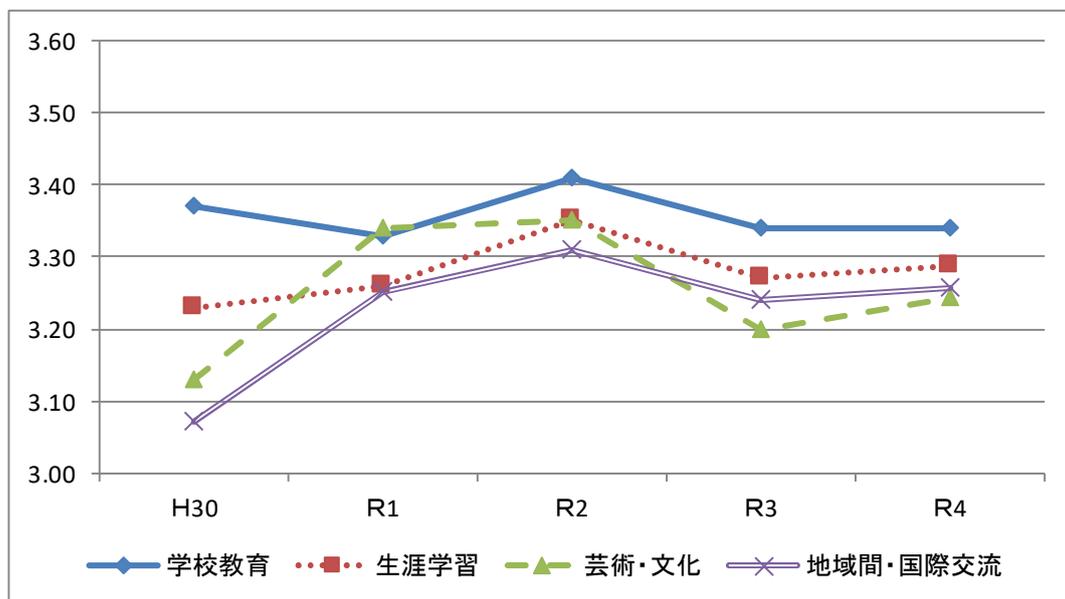
要望度	H30	R1	R2	R3	R4
自然・環境衛生	0.36	0.56	0.53	0.50	0.54
安全・安心体制	1.19	0.82	0.69	0.84	0.84
空き家対策	1.25	1.01	1.06	1.06	1.08
公共交通	1.44	0.89	0.88	0.65	0.73
地域情報化	0.65	0.39	0.38	0.37	0.30
市街地	0.63	0.80	0.79	0.83	0.82
道路・河川	0.95	1.03	0.97	0.91	0.91
上・下水道	0.59	0.63	0.63	0.57	0.63
住環境	0.53	0.51	0.47	0.49	0.61



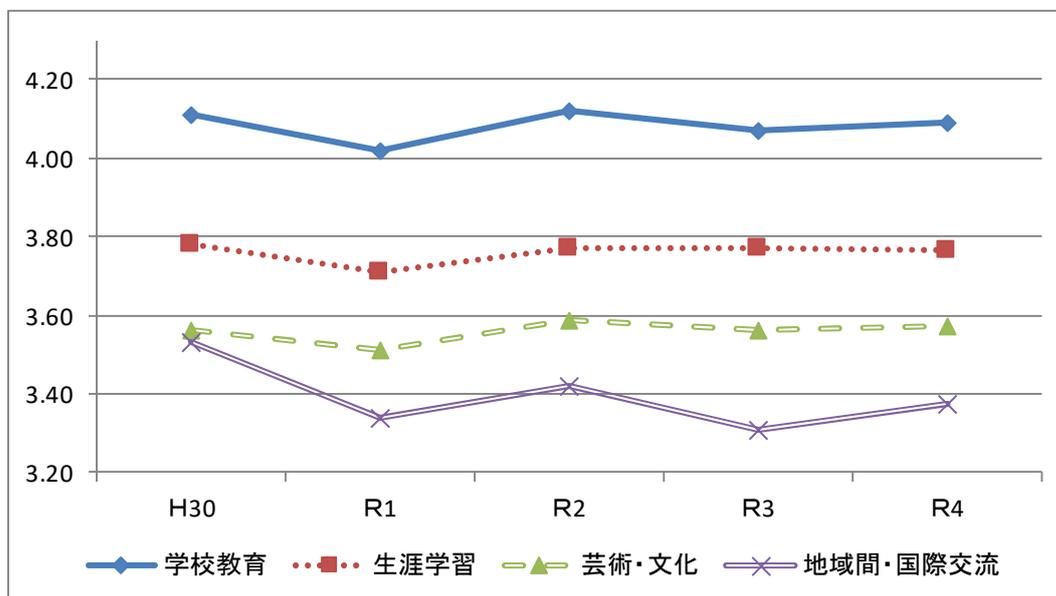
#### IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は、今年度、横ばいまたはやや上昇している。コロナ禍前の令和元年度と比べると、「芸術・文化」は低下しているが、その他の項目は同程度の値となっている。重要度は、「地域間・国際交流」が低下傾向となっているが、そのほかの項目は平成30年度から横ばいとなっている。要望度は、令和元年度以降、「芸術・文化」と「学校教育」が上昇傾向であったが、「芸術・文化」は今年度、やや低下している。

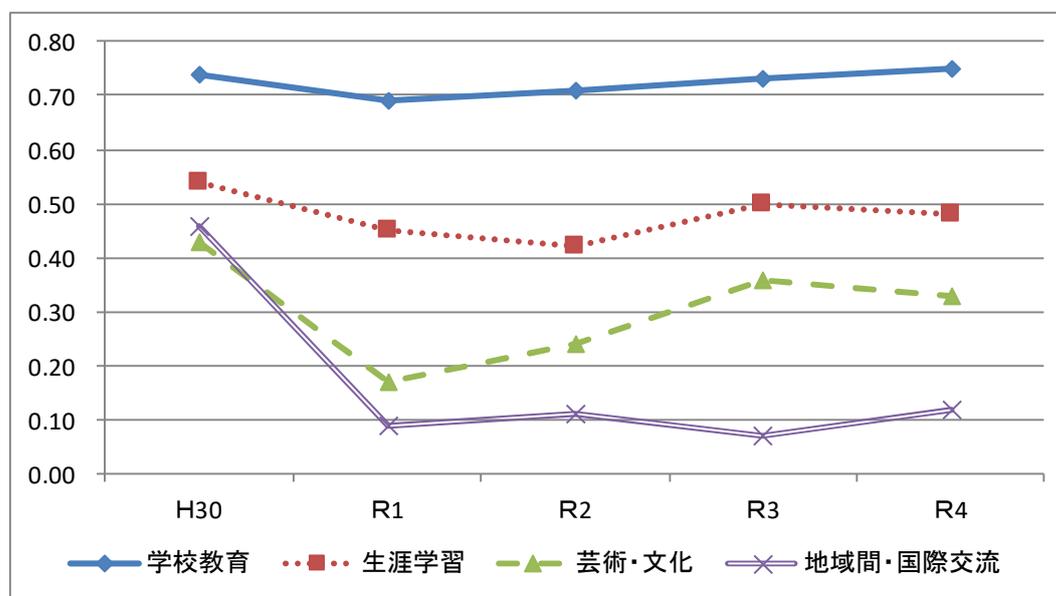
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
学校教育	3.37	3.33	3.41	3.34	3.34
生涯学習	3.23	3.26	3.35	3.27	3.29
芸術・文化	3.13	3.34	3.35	3.20	3.24
地域間・国際交流	3.07	3.25	3.31	3.24	3.26



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
学校教育	4.11	4.02	4.12	4.07	4.09
生涯学習	3.78	3.71	3.77	3.77	3.77
芸術・文化	3.56	3.51	3.59	3.56	3.57
地域間・国際交流	3.53	3.34	3.42	3.31	3.38



要望度	H30	R1	R2	R3	R4
学校教育	0.74	0.69	0.71	0.73	0.75
生涯学習	0.54	0.45	0.42	0.50	0.48
芸術・文化	0.43	0.17	0.24	0.36	0.33
地域間・国際交流	0.46	0.09	0.11	0.07	0.12

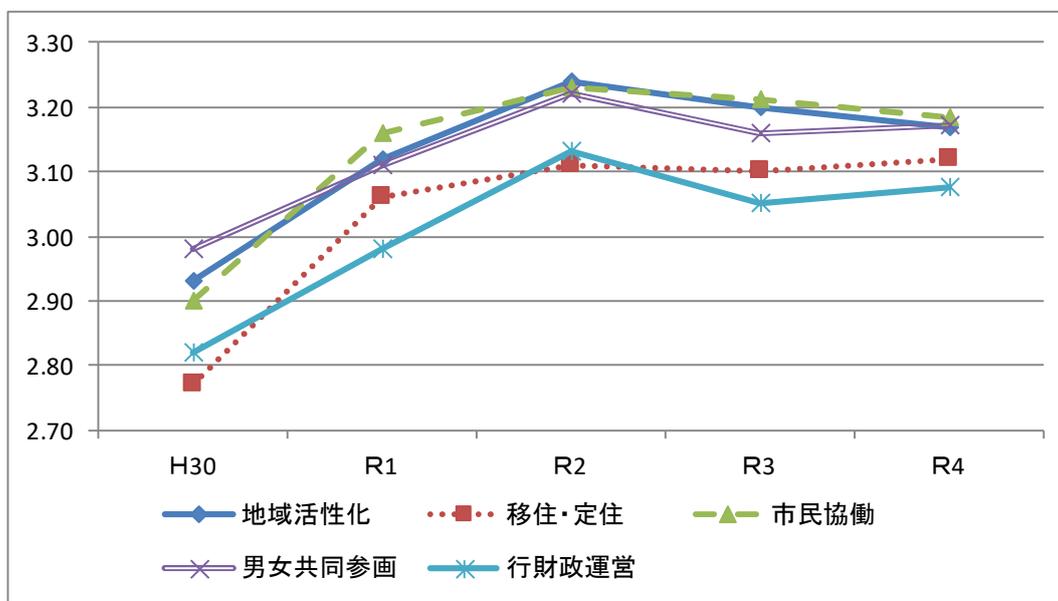


## V 時代に合った地域を創ります！

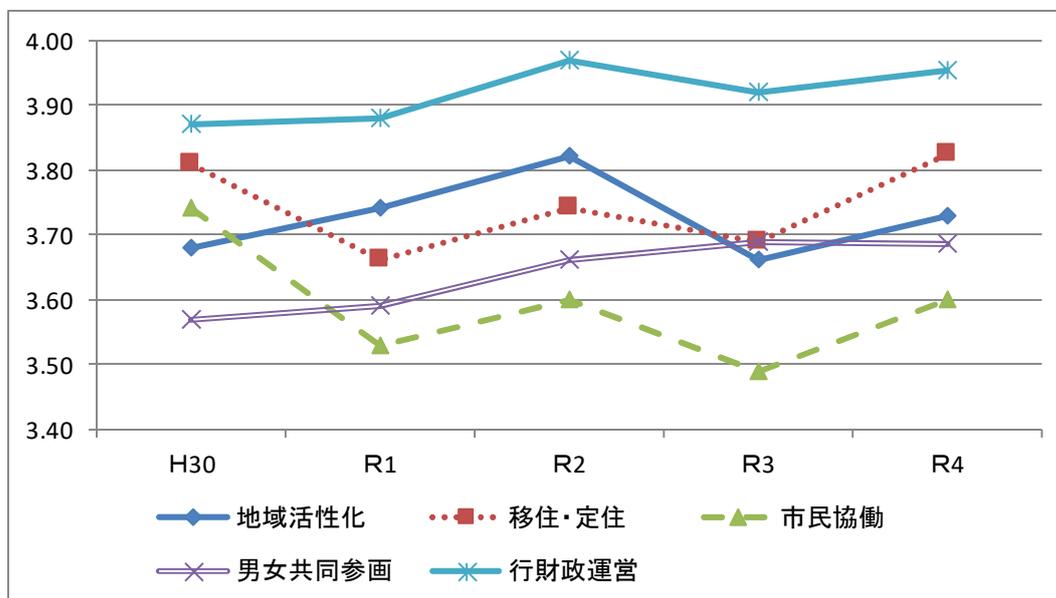
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は、平成30年度以降、全ての項目で上昇していたが、昨年度は低下し、今年度は概ね横ばいとなっている。重要度は、「男女共同参画」を除き、昨年度の低下から上昇に転じている。「男女共同参画」は平成30年度から上昇傾向となっている。要望度は、昨年度低下した「地域活性化」「移住・定住」「市民協働」が再び上昇し、その他の項目は横ばいとなっている。

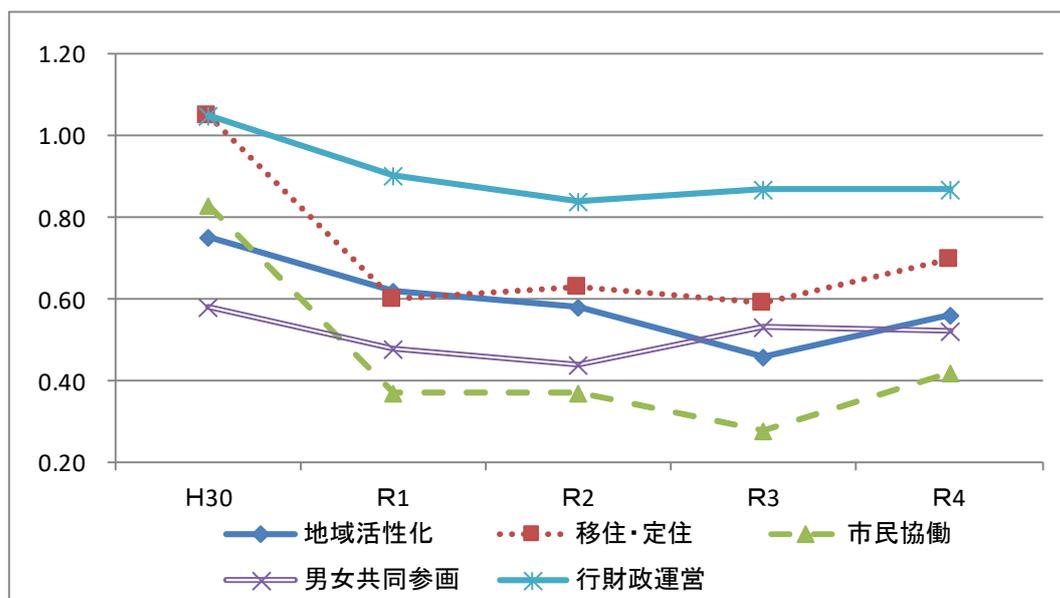
満足度	H30	R1	R2	R3	R4
地域活性化	2.93	3.12	3.24	3.20	3.17
移住・定住	2.77	3.06	3.11	3.10	3.12
市民協働	2.90	3.16	3.23	3.21	3.18
男女共同参画	2.98	3.11	3.22	3.16	3.17
行財政運営	2.82	2.98	3.13	3.05	3.08



重要度	H30	R1	R2	R3	R4
地域活性化	3.68	3.74	3.82	3.66	3.73
移住・定住	3.81	3.66	3.74	3.69	3.82
市民協働	3.74	3.53	3.60	3.49	3.60
男女共同参画	3.57	3.59	3.66	3.69	3.69
行財政運営	3.87	3.88	3.97	3.92	3.95



要望度	H30	R1	R2	R3	R4
地域活性化	0.75	0.62	0.58	0.46	0.56
移住・定住	1.05	0.60	0.63	0.59	0.70
市民協働	0.83	0.37	0.37	0.28	0.42
男女共同参画	0.58	0.48	0.44	0.53	0.52
行財政運営	1.05	0.90	0.84	0.87	0.87



## 大仙市の住みやすさについて

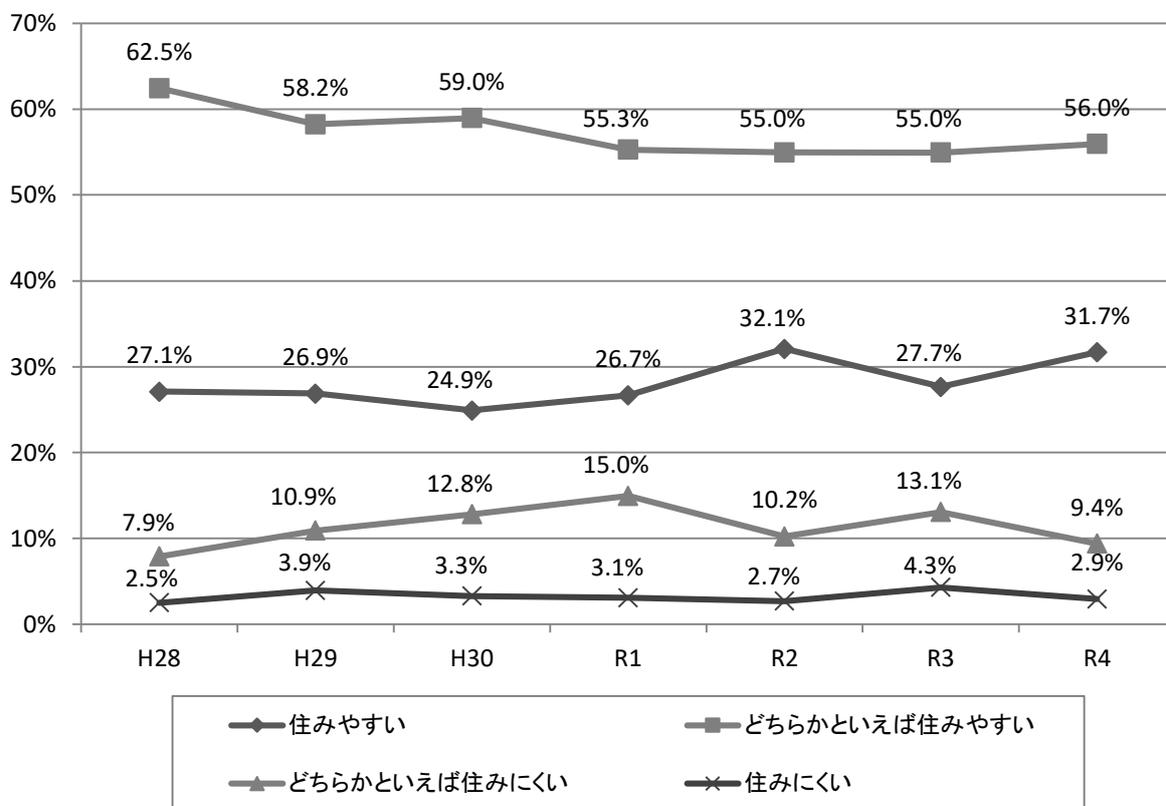
### 「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」は昨年度から上昇し、過去7年間で2番目に高い数値となっている。「どちらかといえば住みやすい」は低下傾向であったが、令和元年度からは横ばいとなっている。昨年度と比較すると「住みやすい」が上昇したことに伴い、住みにくいに関する項目が低下している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%	32.1%	27.7%	31.7%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%	55.2%	55.0%	55.0%	56.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%	10.2%	13.1%	9.4%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%	2.7%	4.3%	2.9%

※()内の数値は「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値

※経年比較のため、H28、H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



## 「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は令和2年度に上昇した後、昨年度は大幅に低下したが、今年度はそれを上回る大幅な上昇を示しており、過去7年間で2番目に高い数値となっている。

「市内の別の場所へ移りたい」は令和元年度以降、低下傾向で推移しており、今年度は大幅に低下している。なお、過去7年間で最も低い数値となっている。「市外に移りたい」は、上昇傾向で推移しており、昨年度は大きく上昇したものの、今年度はやや低下している。「住み続けたいが、移らざるを得ない」は横ばいで推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%	75.2%	71.9%	77.3%
市内の別の場所へ 移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%	13.3%	12.9%	9.8%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%	10.4%	8.1%	11.2%	9.8%
住み続けたいが、 移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%	3.4%	3.9%	3.1%

※()内の数値は「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値

※経年比較のため、H28、H29調査における割合は無回答を除いた数で求め直した

